



2020年11月13日

各 位

会 社 名 第一生命ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 稲垣 精二
(コード番号：8750 東証第一部)
問合せ先 経営企画ユニット IRグループ
(TEL 050-3780-6930)

2021年3月期 第2四半期決算補足資料（第一生命ホールディングス株式会社分）

2021年3月期 第2四半期 決算報告

2020年11月13日

第一生命ホールディングス株式会社



Dai-ichi Life
Holdings

目次

● 本日のポイント	P.2
● グループ各社の業績概要	P.8
● グループEEV	P.16
● 参考データ	P.22

グループ各社略称・出資比率・決算期

国内生命保険事業			出資比率	決算期
DL	第一生命		100%	
DFL	第一フロンティア生命		100%	4-3月
NFL	ネオファースト生命		100%	
海外生命保険事業				
PLC	プロテクトティブ	[米国] Protective Life Corporation	100%	1-12月
TAL	TAL	[豪州] TAL Dai-ichi Life Australia	100%	4-3月
DLVN	第一生命ベトナム	[ベトナム] Dai-ichi Life Insurance Company of Vietnam	100%	
DLKH	第一生命カンボジア	[カンボジア] Dai-ichi Life Insurance (Cambodia)	100%	1-12月
DLMM	第一生命ミャンマー	[ミャンマー] Dai-ichi Life Insurance Myanmar	100%	
SUD	スター・ユニオン・第一ライフ	[インド] Star Union Dai-ichi Life Insurance Company	45.9%	4-3月
PDL	パニン・第一ライフ	[インドネシア] PT Panin Dai-ichi Life	40%	1-12月
OLI	オーシャン・ライフ	[タイ] OCEAN LIFE INSURANCE PUBLIC COMPANY	24%	
アセットマネジメント事業				
AMOne	アセットマネジメントOne		49%(議決権) 30%(経済持分)	4-3月
JH	ジャナス・ヘンダーソン	Janus Henderson Group	16.5%	1-12月

主要為替レート(TTM)

	米ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円
2020/9末	105.80円	124.17円	75.49円
2020/6末	107.74円	121.08円	73.88円
2020/3末	108.83円	119.55円	66.09円
2019/9末	107.92円	118.02円	72.88円
2019/6末	107.79円	122.49円	75.49円
2019/3末	110.99円	124.56円	78.64円

1.【営業業績】 国内の新契約年換算保険料は△53%減少、営業自粛等の制約下で想定内の推移

- DL・DFLはそれぞれ前年同期比△59%・△54%減少と想定内、NFLは+26%増加と前年同期を上回る
- 海外は豪TALの団体保険の反動減等から△10%減少したが、米PLCは新型コロナの感染が拡大した4-6月期を含めて+5%増加

2.【新契約価値・EEV】 新契約価値は△61%減少、EEVは金融市場の回復により+17%増加

- 新契約価値は、DLが営業自粛の影響等から前年同期比△58%減少の238億円(給与補償等の除外を反映後)
海外は、米PLCにおける金利低下の影響や豪TALにおける反動減等から△80%減少の18億円
- グループEEVは、金融市場の回復等から国内生保を中心に増加し、前期末比+17%増加の6兆5,628億円

3.【連結利益】 DL・PLCの金融市場変動等の影響やDFLの準備金戻入の反動減により△54%減少

- グループ修正利益は前年同期比△54%減少の841億円(進捗率47%)、連結純利益は△9%減少の833億円(同45%)
- 国内は、DLが基礎利益増加も、金融派生商品損益の悪化から修正利益は△52%、DFLは準備金戻入の反動減から△51%減少
DLの金融派生商品損益は、通期のキャピタル損益等を踏まえた上で、その損失の一部を株主還元の計算から除外することを検討
- 海外の修正利益も△46%減少したが、米PLCが金融市場悪化等による1Q(1-3月期)の赤字から黒字化、豪TALは増益を確保

新型コロナに関連した保険金等のお支払いの状況

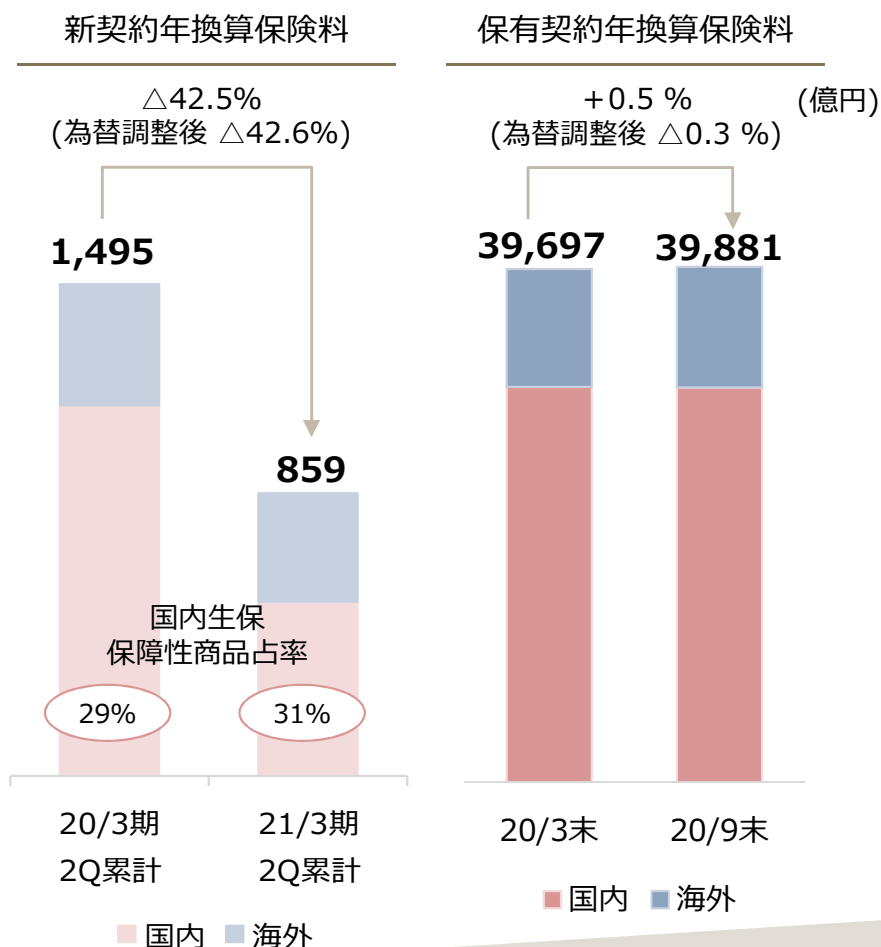
	死亡保険金(給付金)		入院給付金等	
	件数	金額	件数	金額
国内グループ会社	136件	約9.7億円	1,627件	約185百万円
海外グループ会社	2,297件	約98.3億円	145件	約21百万円

※2020年9月30日時点での判明分
海外グループ会社は9月末為替レート(TTM)にて円換算、再保険考慮後

第2四半期決算のポイント - 営業業績

- ▶ 国内新契約は前年同期比△53%減少の529億円となったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う営業自粛等の制約下で想定内の推移。今後の新型コロナウイルスの感染状況には留意が必要ではあるものの、DLは10月より本格的な営業活動を再開したほか、また、DFLも新商品(7月発売)が足元の販売量改善に寄与するなど、下期の営業業績は徐々に回復を見込む
- ▶ 海外では、米PLCが主力商品の販売が好調に推移し、豪TALも、前年同期の団体保険契約獲得からの反動減を除けば概ね堅調

新契約・保有年換算保険料の状況



(億円)	新契約年換算保険料			保有契約年換算保険料		
	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	前年 同期比	20/3末	20/9末	前期末比
国内3社計	1,128	529	△53.1%	30,578	30,542	△0.1%
DL	427	173	△59.3%	21,104	20,817	△1.4%
うち第三分野	265	90	△65.9%	6,947	6,873	△1.1%
DFL	657	300	△54.4%	8,078	8,325	+3.1%
うちDLチャンネル販売	154	48	△68.5%			
NFL	43	55	+26.1%	1,395	1,399	+0.3%
うちDLチャンネル販売	17	29	+68.8%			
海外4社計	366	330	△9.9% (△10.3%)	9,119	9,339	+2.4% (△1.0%)
PLC	183	193	+5.1% (+5.1%)	5,457	5,362	△1.8% (△0.1%)
TAL ⁽¹⁾	87	44	△49.4% (△51.1%)	3,024	3,316	+9.6% (△4.0%)
DLVN	95	92	△3.0% (△3.0%)	636	660	+3.8% (+6.1%)
DLKH	0.0	0.2	+326.4% (+326.6%)	0.3	0.4	+45.4% (+47.8%)
第一生命グループ計	1,495	859	△42.5% (△42.6%)	39,697	39,881	+0.5% (△0.3%)

海外各社および合計の上段は円換算、下段は為替変動の影響を除く変化率

(1) 21/3期1Qより新契約年換算保険料の計上基準を変更し、過年度の数値も変更後の基準で記載しています

第2四半期決算のポイント – 新契約価値・グループEEVの変動要因

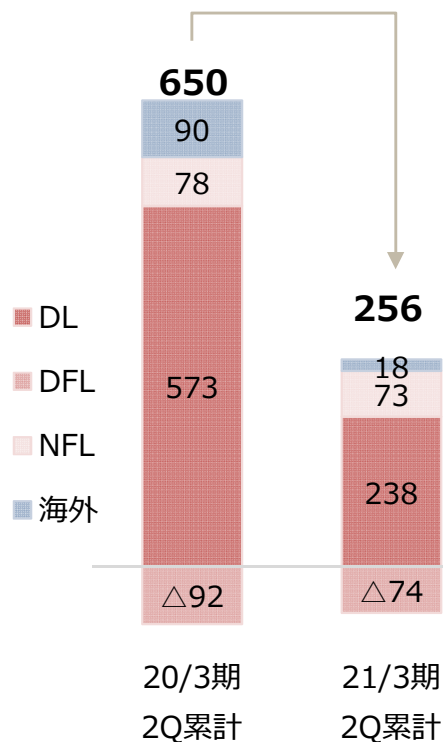
- ▶ 新契約価値は、営業自粛の影響等によりDLが前年同期比△58%減少の238億円となったことを主因に、全体では△61%減少
海外は、DLVN(ベトナム)で増加したものの、米PLCにおける米国金利低下の影響や豪TALの団体保険の反動減等により減少
- ▶ グループEEVは、期待収益の実現に加え、金融市場の改善に伴う経済前提における実績との差異+約7,000億円の増加が大きく寄与
また、DLの団体年金一般勘定の料率改定を今回のEEVより反映

新契約価値・グループEEVの変動要因

新契約価値

(億円)

△60.6%
(国内生保: △57.5% 海外生保: △79.8%)



(DL)上期の営業関連費用の除外

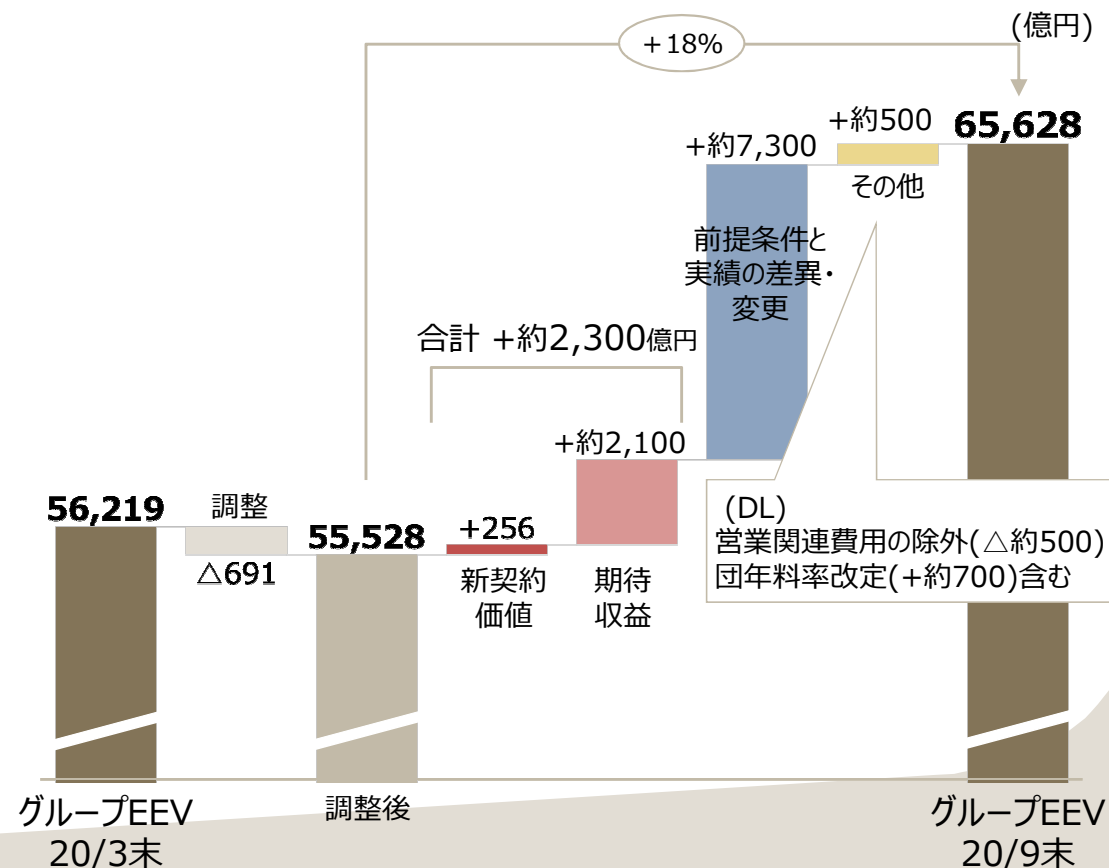
- ・ 新型コロナ感染拡大の特殊な状況に鑑み、以下を計算上の費用から除外し、EEVの修正純資産より直接控除
[①給与補償] 約100億円
[②営業関連固定費の一部] 約400億円

(DFL)運用スプレッドを考慮した試算値⁽¹⁾

- ・ 保険監督者国際機構(IAIS)が検討する国際資本基準(ICS)を参考に一定の運用利回りを反映
[反映後新契約価値] 約60億円

グループEEVの変動要因

(億円)



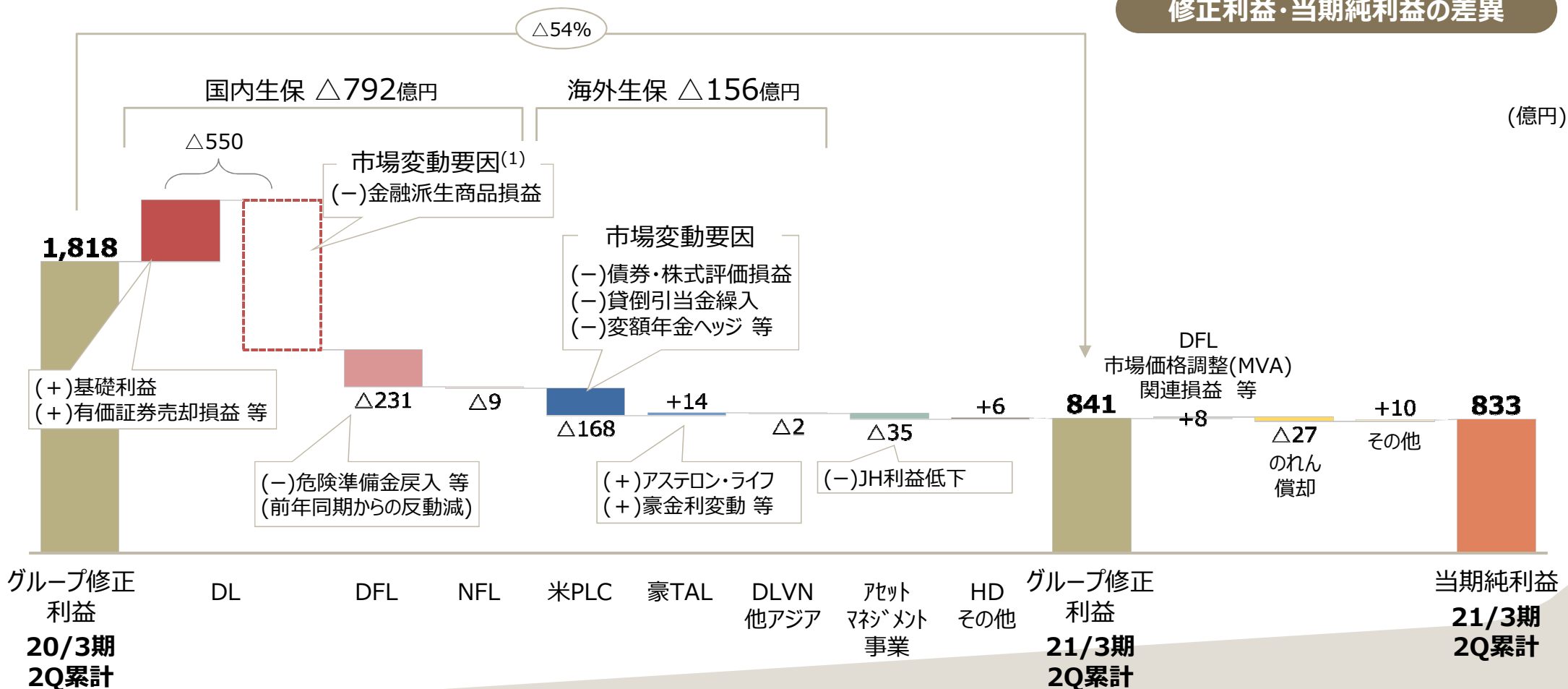
(1) 第三者機関(アクチュアリー・ファーム)による検証を受けていない試算値

第2四半期決算のポイント – グループ修正利益・当期純利益

- ▶ グループ修正利益は、DL基礎利益の増加や豪TALの増益等があるものの、今期の金融市場の回復に伴い、DLで前期末に大幅な評価益を計上したヘッジポジションからの金融派生商品損益が1Qに損失に反転したことや、DFLにおける危険準備金戻入益の反動減、米PLCの1Q(1-3月期)における損益悪化から、前年同期比△54%減少の841億円
- ▶ 連結当期純利益は、DFLにおけるMVA関連損益のマイナスが前年同期から大幅に縮小も、△9%減少の833億円

グループ修正利益・変動要因

修正利益・当期純利益の差異

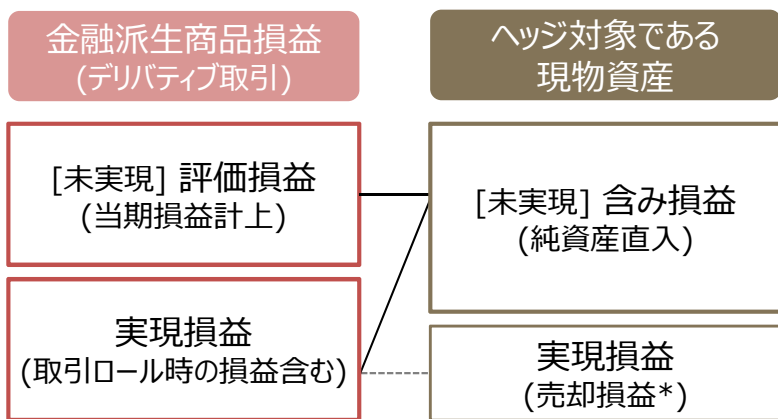


(1) 金融派生商品損益のほか、有価証券評価損および金銭の信託運用損益の増減を合算しています

DLにおけるデリバティブ取引と金融派生商品損益の状況

- ▶ DLでは、資産運用ポートフォリオにおける経済価値ベースでの統合リスク量のコントロールや安定的な運用利回りの確保を目的に、現物資産の入替えによるポジション調整に加えてデリバティブを活用（基本的に、為替・株式市場等に対してショートポジションを保有）
- ▶ 前第4四半期は、3月の金融市場悪化に伴い多額の収益を計上したが、今期は市場が改善したため損失に反転
- ▶ 今期損失は前期の評価益を相殺する形にあるため、通期のキャピタル損益等を踏まえた上で、一部損失の株主還元の数値からの除外を検討

デリバティブ取引(ヘッジ会計非適用)と
ヘッジ対象である現物資産の評価損益の関係



原則的に評価損益は互いに±反対方向への動きとなり、
ヘッジ対象の実質的な経済価値にはニュートラル

[ヘッジ取引終了時の損益認識]

- ・ デリバティブ取引のみを終了する場合
(金融派生商品損益を会計上認識)
- ・ ヘッジ対象の現物資産の売却と併せて損益を実現する場合
(金融派生商品損益と売却損益*を会計上認識)

	主なデリバティブ取引(上段)と 取引目的(下段)	20/9末 保有ポジション ⁽¹⁾	20/2Q累計 金融派生商品損益	前期4Q 損益増減 ⁽²⁾
為替 関連	通貨オプション(プット買建) 為替予約(売建)	[通貨オプション] 4,239億円 [為替予約] 6,691億円	△610	+557
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 為替下落(円高)ヘッジ ・ ヘッジ外債含み益の包括ヘッジ ・ 通貨間リスク調整 			
株式 関連	株価指数オプション(プット買建) 株価指数先物(売建)	[円建株価指数オプション] 1,499億円 [円建株価指数先物] 49億円	△501	+207
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国内/外国株価下落ヘッジ (株式リスク量削減) 			
金利 関連	円建金利スワップション(買建) -固定金利受取/変動金利支払	4,540億円	△128	+124
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国内金利低下ヘッジ(金利リスク量削減) 			
	-固定金利支払/変動金利受取	17,100億円		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 急激な国内金利上昇ヘッジ 			
			△1,262	+1,030

[その他共計]

△1,262 +1,030

(1) 売建・買建ネット後の契約額等 (2) 前期3Q(12末)~4Q(3末)までの金融派生商品損益の増減を記載

グループ^o連結主要業績および2021年3月期業績予想

(億円)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	前年 同期比	(%)	対通期予想 進捗率	20/3期 通期実績	21/3期 通期予想	前期比	(%)
連結経常収益	36,561	33,631	△ 2,930	△ 8%	52%	71,140	64,870	△ 6,270	△ 9%
第一生命	18,070	17,821	△ 249	△ 1%	51%	36,806	35,230	△ 1,576	△ 4%
第一フロンティア生命	12,404	8,589	△ 3,814	△ 31%	62%	20,650	13,760	△ 6,890	△ 33%
米プロテクティブ (百万米ドル) ⁽¹⁾	6,378	4,938	△ 1,440	△ 23%	50%	12,744	9,820	△ 2,924	△ 23%
豪TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	2,792	3,326	+ 534	+ 19%	58%	5,808	5,760	△ 48	△ 1%
連結経常利益	1,937	1,628	△ 308	△ 16%	45%	2,183	3,580	+ 1,397	+ 64%
第一生命	1,976	1,193	△ 783	△ 40%	40%	2,906	2,970	+ 64	+ 2%
第一フロンティア生命	△ 384	300	+ 685	-	75%	△ 944	400	+ 1,344	-
米プロテクティブ (百万米ドル) ⁽¹⁾	305	112	△ 192	△ 63%	51%	577	220	△ 357	△ 62%
豪TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	69	98	+ 29	+ 42%	90%	207	110	△ 97	△ 47%
連結純利益⁽²⁾	917	833	△ 84	△ 9%	45%	324	1,840	+ 1,516	+ 468%
第一生命	1,063	512	△ 550	△ 52%	35%	1,286	1,450	+ 164	+ 13%
第一フロンティア生命	△ 412	231	+ 644	-	83%	△ 1,000	280	+ 1,280	-
米プロテクティブ (百万米ドル) ⁽¹⁾	246	90	△ 156	△ 63%	50%	463	180	△ 283	△ 61%
豪TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	43	63	+ 19	+ 44%	90%	154	70	△ 84	△ 55%
グループ^o修正利益	1,818	841	△ 977	△ 54%	47%	2,745	1,800程度	△ 945	△ 34%
					1株あたり配当(円)	62	62	-	-
(参考)基礎利益 ⁽³⁾	2,689	2,865	+ 175	+ 7%	60%	5,463	4,800程度	△ 663	△ 12%
第一生命	2,037	2,302	+ 264	+ 13%	58%	4,221	4,000程度	△ 221	△ 5%

(1) 米プロテクティブおよび豪TALの数値は、各国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示
(換算為替) 米プロテクティブ: 1米ドル=107.79円(20/3期2Q)、109.56円(20/3期通期実績)、107.74円(21/3期2Qおよび通期予想)
豪TAL: 1豪ドル=72.88円(20/3期2Q)、66.09円(20/3期通期実績)、73.88円(通期予想)、75.49円(21/3期2Q)

(2) 親会社株主に帰属する当期純利益

(3) 第一フロンティア生命における21/3期1Qからの基礎利益の計上基準の変更に伴い、過年度の数値を変更後の基準で記載しています



グループ各社の業績概要

[グループ各社の業績概要]

国内生命保険事業 – 第一生命



Dai-ichi Life Holdings

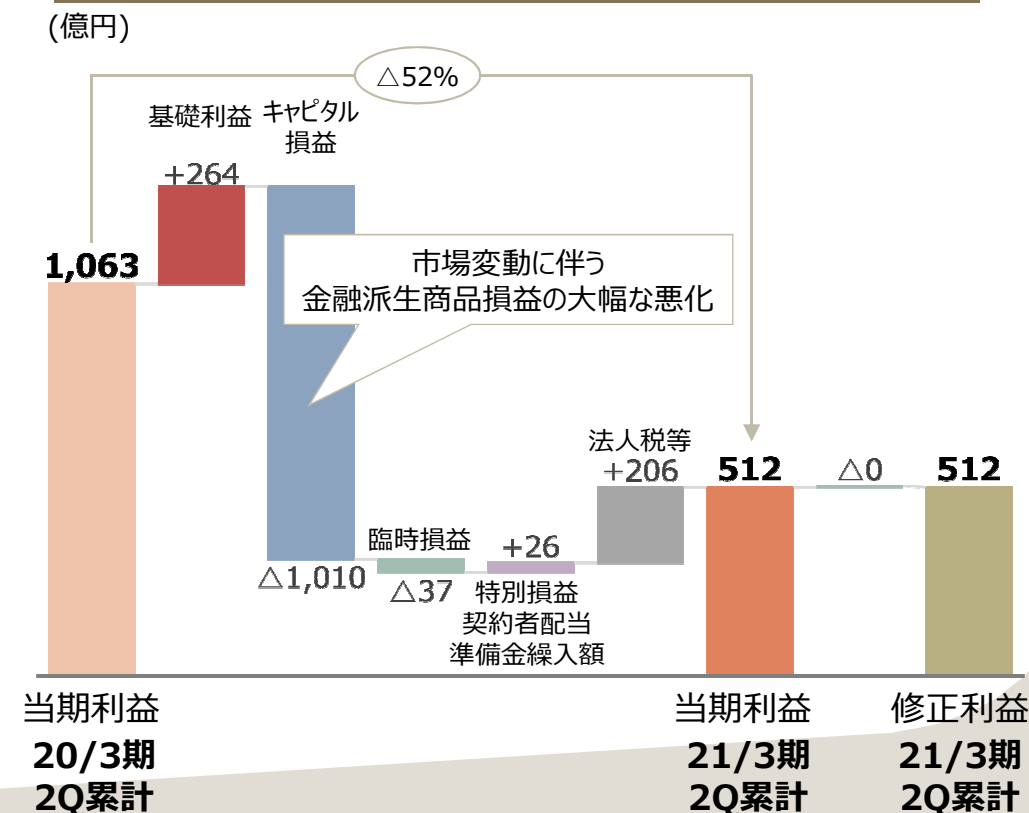
- ▶ 基礎利益は、順ざやの増加を主因に前年同期比 +13%増加の2,302億円
- ▶ 修正利益は、前期末からの金融市場反転等を受け、金融派生商品損益が大きく悪化したことなどから、△52%減少の512億円

単体業績

(億円)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	前年 同期比	(%)
保険料等収入	11,615	10,865	△ 749	△ 6%
基礎利益	2,037	2,302	+ 264	+ 13%
順ざや	469	825	+ 355	+ 76%
保険関係損益	1,567	1,476	△ 91	△ 6%
キャピタル損益	317	△ 692	△ 1,010	
有価証券売却損益	823	888	+ 65	
金融派生商品損益	139	△ 1,262	△ 1,401	
為替差損益	△ 499	△ 264	+ 234	
有価証券評価損	△ 142	△ 79	+ 63	
臨時損益	△ 378	△ 416	△ 37	
新規追加責任準備金繰入額	△ 377	△ 376	+ 1	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	-	△ 32	△ 32	
経常利益(損失)	1,976	1,193	△ 783	△ 40%
特別損益	△ 87	△ 101	△ 14	
価格変動準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 85	△ 85	-	
契約者配当準備金繰入額	△ 409	△ 368	+ 41	
法人税等合計	△ 416	△ 210	+ 206	
当期純利益(損失)	1,063	512	△ 550	△ 52%

(億円)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	前年 同期比	(%)
修正利益	1,063	512	△ 550	△ 52%

当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異



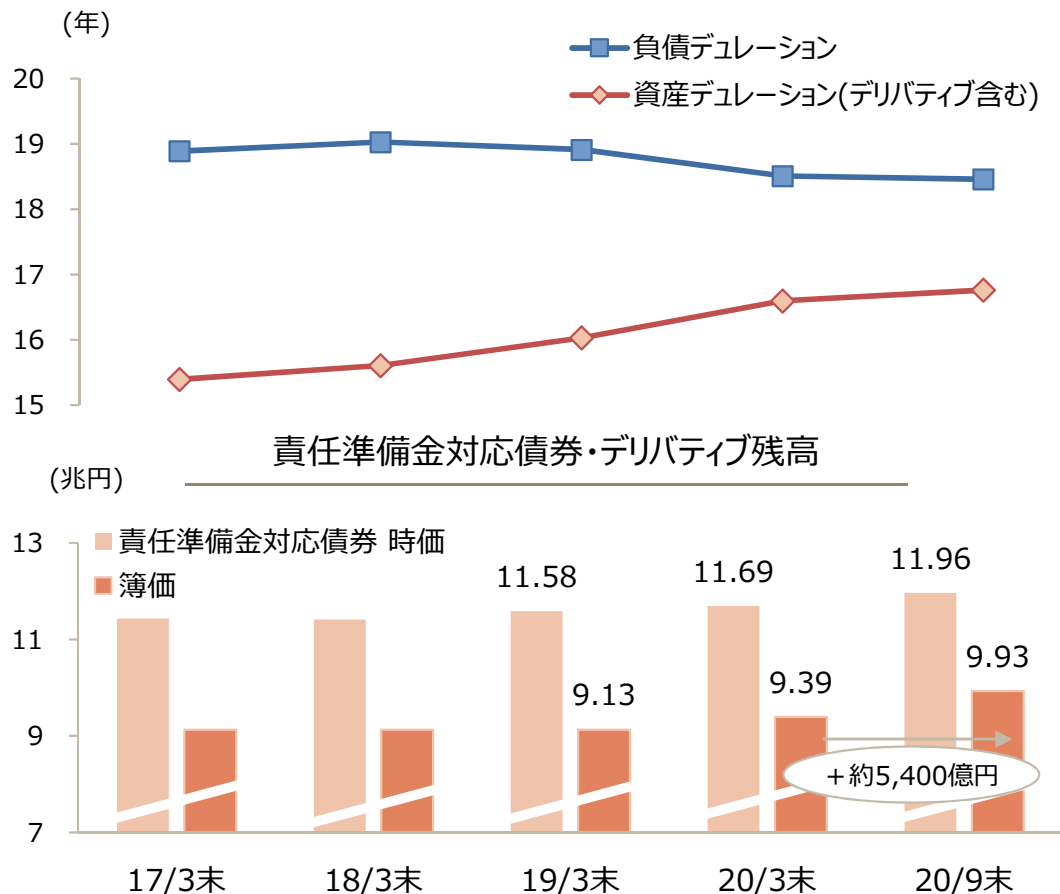
[グループ各社の業績概要]

第一生命 – 市場関連リスク削減の取組状況



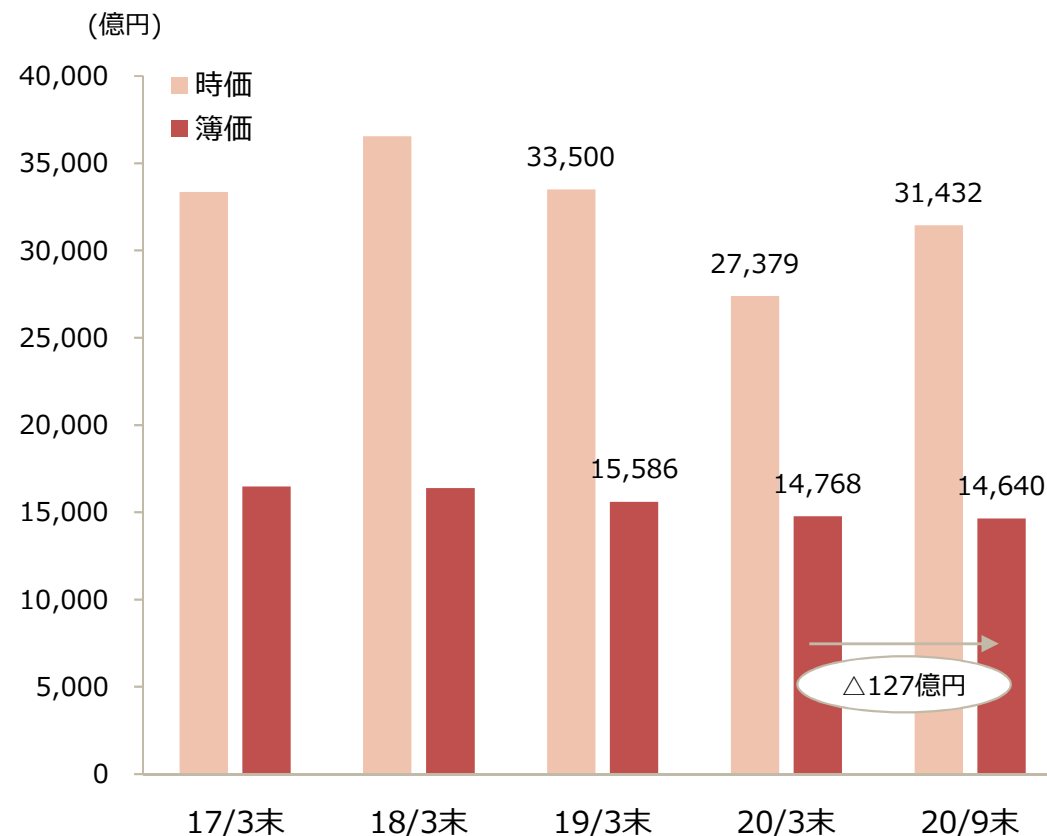
Dai-ichi Life Holdings

デュレーションと責任準備金対応債券の積み増し状況⁽¹⁾



金利スワップ (保険負債へのヘッジ会計適用分)	7,000億円	7,000億円	7,000億円
金利スワップション (固定受/変動払)	-	8,300億円	4,540億円

国内株式の簿価・時価⁽²⁾



国内株式リスク削減ポジション (デリバティブ等のポジション残高)	1,500億円	2,642億円	2,210億円
[参考]外国株式リスク削減ポジション	590億円	1,104億円	-

(1) 一般勘定資産のうち主に個人保険・個人年金に係る経理区分の保険負債と円建確定利付資産(金利スワップを含む)の会計上のデュレーション、および責任準備金対応債券・デリバティブ残高
責任準備金対応債券とは、保険会社だけに認められた区分で、一定の要件を満たせば償却原価法による評価が認められているものを指します

(2) 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く) 20/9末において純投資目的以外の目的で保有する株式(みなし保有株式は除く)の簿価残高は1,034億円

[グループ各社の業績概要]

国内生命保険事業 – 第一フロンティア生命

- ▶ 事業利益は、債券売却益の増加もあり、前年同期比 + 3%増加の364億円、MVA関連損益の改善等により、当期利益は231億円
- ▶ 修正利益は、運用期間満了を迎えた変額年金の危険準備金戻入の反動減により、△51%減少の222億円

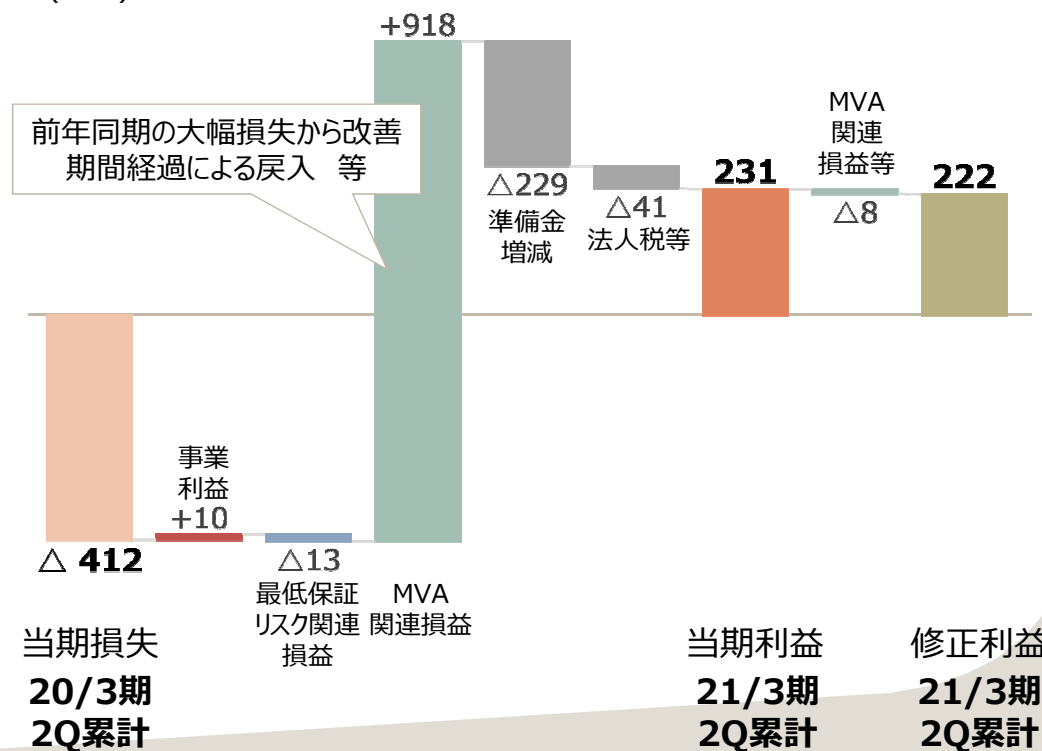
単体業績

(億円)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	前年 同期比	(%)
保険料等収入	7,081	3,968	△ 3,112	△ 44%
基礎利益⁽¹⁾	276	283	+ 7	+ 3%
順ざや・保険関係損益等(事業利益項目)	252	252	+ 0	
最低保証関連損益(責任準備金増減等)	23	31	+ 7	
キャピタル損益	△ 614	202	+ 816	
最低保証関連損益(ヘッジ損益)	△ 31	△ 52	△ 20	
MVA積増等関連損益	△ 1,233	△ 167	+ 1,066	
その他キャピタル損益(事業利益項目)	651	422	△ 229	
臨時損益	△ 46	△ 185	△ 139	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	233	3	△ 230	
MVA積増等関連損益	269	120	△ 148	
その他臨時損益(事業利益項目)	△ 550	△ 310	+ 239	
経常利益(損失)	△ 384	300	+ 685	-
特別損益	△ 28	△ 28	+ 0	
価格変動準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 28	△ 28	+ 0	
法人税等合計	△ 0	△ 41	△ 41	
当期純利益(損失)	△ 412	231	+ 644	-
事業利益 ⁽²⁾	354	364	+ 10	+ 3%
最低保証リスク関連損益	△ 7	△ 21	△ 13	
市場価格調整(MVA)関連損益	△ 964	△ 46	+ 918	
危険準備金/価格変動準備金、税金	205	△ 65	△ 270	

(億円)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	前年 同期比	(%)
修正利益	454	222	△ 231	△ 51%

当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異

(億円)



- (1) 21/3期1Qより基礎利益の基準変更を行い、外貨建保険商品対応のための通貨スワップ及び金利スワップ取引に係る受取・支払利息の額及び再保険取引に係る金銭の信託等に於て留保する資産より生じる影響額についてはキャピタル損益より組み替えています
- (2) 純利益から最低保証リスク関連損益、市場価格調整(MVA)に係る損益、危険準備金の繰入等を除いた基礎的な収益力を表す内部管理指標

[グループ各社の業績概要]

国内生命保険事業 – ネオファースト生命



Dai-ichi Life Holdings

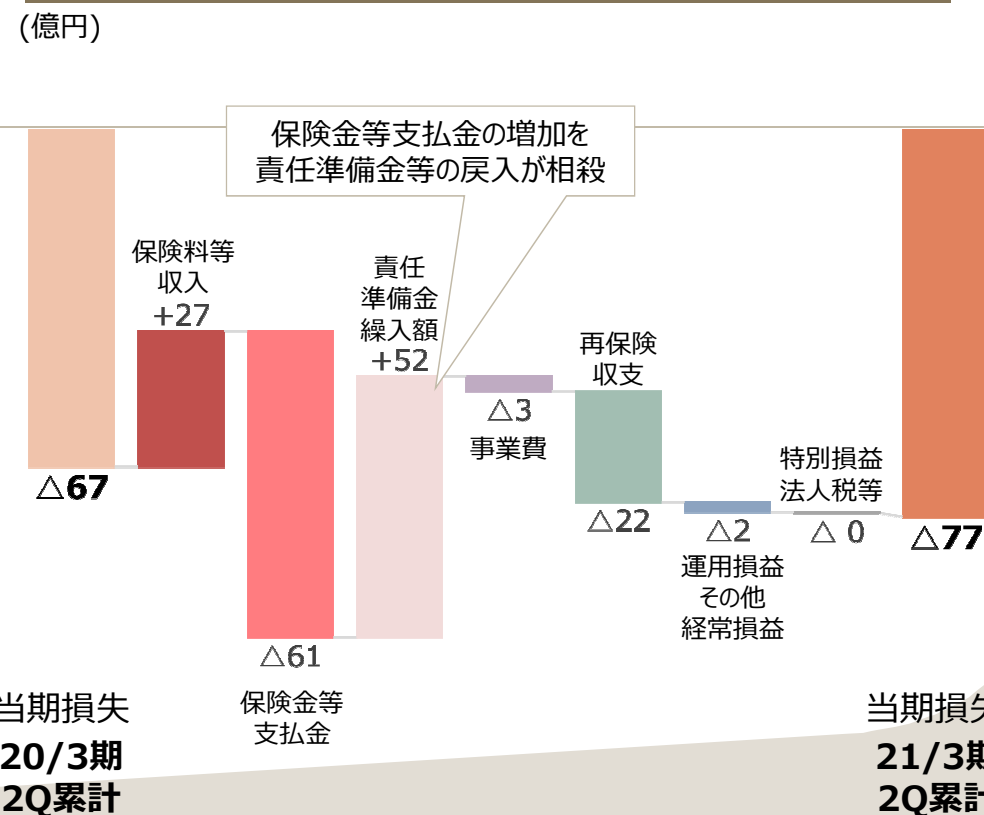
- ▶ 新契約拡大に伴い保険料等収入は前年同期比+4%増加
- ▶ 保険金等支払(主に解約返戻金)が増加したものの、責任準備金等の戻入が相殺した結果、当期純利益は△77億円

単体業績

(億円)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	前年 同期比	(%)
保険料等収入(再保険収入を除く)	635	663	+ 27	+ 4%
保険金等支払金(再保険料を除く)	△ 32	△ 93	△ 61	
保険金・年金・給付金	△ 17	△ 25	△ 8	
解約返戻金・その他返戻金	△ 15	△ 68	△ 53	
責任準備金等繰入額	△ 487	△ 434	+ 52	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 2	△ 1	+ 0	
事業費	△ 125	△ 129	△ 3	
再保険収支	△ 55	△ 78	△ 22	
資産運用損益・その他経常損益	△ 2	△ 4	△ 2	
資産運用損益	0	1	+ 0	
その他経常損益	△ 2	△ 5	△ 2	
経常利益(損失)	△ 67	△ 77	△ 9	-
特別損益	△ 0	△ 0	△ 0	
法人税等合計	△ 0	△ 0	-	
当期純利益(損失)	△ 67	△ 77	△ 9	-
基礎利益	△ 65	△ 75	△ 10	-

(億円)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	前年 同期比	(%)
修正利益	△ 67	△ 77	△ 9	-

当期純利益(損失)の変動要因



[グループ各社の業績概要]

海外生命保険事業 – 米プロテクティブ

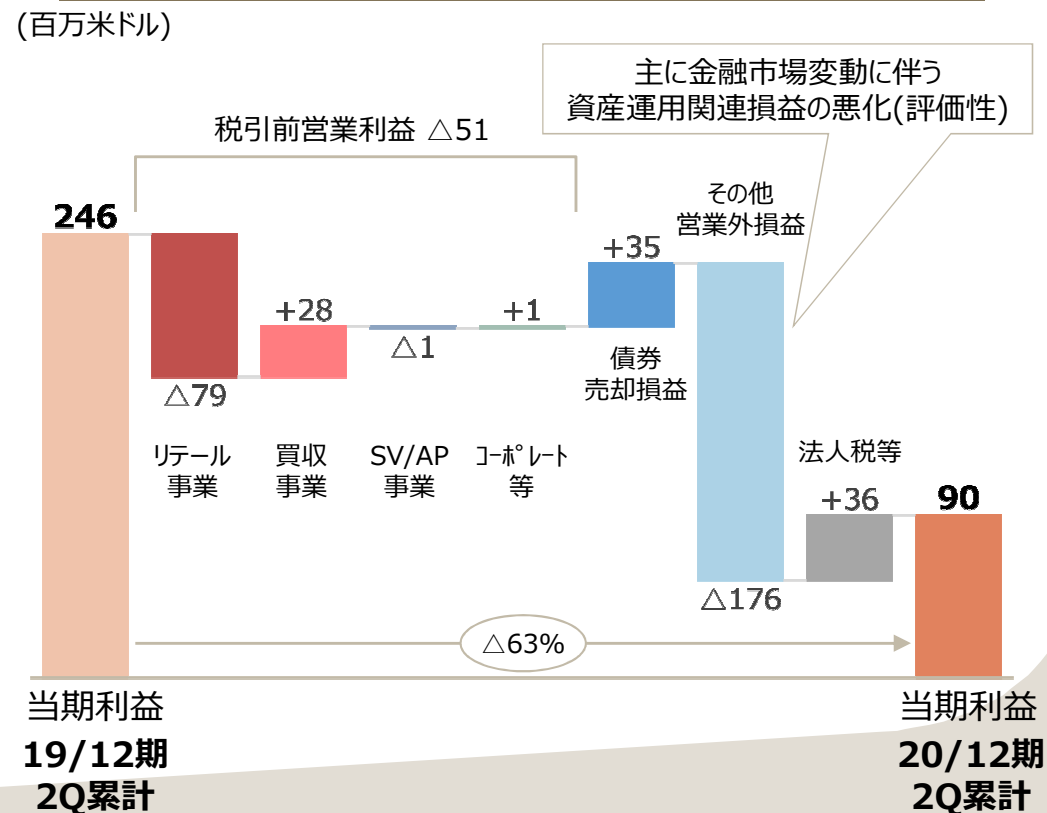
- ▶ 営業利益は、リテール事業における保険金支払増加に伴う損益悪化により、前年同期比△19%減少の222百万米ドル
- ▶ 当期純利益は、1Q(1-3月期)に計上した金融市場変動に伴う債券評価損や商業モーゲージローンに対する貸倒引当金繰入等の負担により、前年同期比△63%減少の90百万米ドル (現地時間11/13午後7-9月期の決算公表を予定)

単体業績

(百万米ドル)	19/12期 2Q累計	20/12期 2Q累計	前年 同期比	(%)
保険料等収入	2,887	2,911	+ 24	+ 1%
税引前営業利益⁽¹⁾	274	222	△ 51	△ 19%
リテール保険&年金 ⁽²⁾	100	20	△ 79	△ 80%
買収	144	173	+ 28	+ 20%
ステーブルバリュー(SV)	50	41	△ 8	△ 17%
アセットプロテクション(AP)	18	25	+ 6	+ 35%
コーポレート等	△ 40	△ 38	+ 1	-
営業外損益(償却調整後)	30	△ 110	△ 141	
債券売却損益	6	41	+ 35	
債券評価損・株式評価損益等	34	△ 70	△ 104	
商業モーゲージローン貸倒引当金増減	0	△ 99	△ 99	
修正共同保険式再保険に関する損益	28	68	+ 39	
デリバティブ損益(変額/定額年金等)	△ 69	△ 164	△ 95	
営業外損益に係るDAC等償却の変動	31	114	+ 83	
法人税等	△ 58	△ 21	+ 36	
当期純利益	246	90	△ 156	△ 63%
当期純利益(損失) ※円換算後: 億円	265	97	△ 168	△ 63%
決算為替レート(対円)	107.79	107.74	△ 0.05	△ 0%

(億円)	19/12期 2Q累計	20/12期 2Q累計	前年 同期比	(%)
修正利益	265	97	△168	△63%

当期純利益(損失)の変動要因



(1) 純利益から資産運用やデリバティブにおけるキャピタル損益を控除した利益指標

(2) 20/12期1Qより報告セグメントの変更を行っており、旧「生保事業」と「年金事業」を統合しています

[グループ各社の業績概要]

海外生命保険事業 – 豪TAL



Dai-ichi Life Holdings

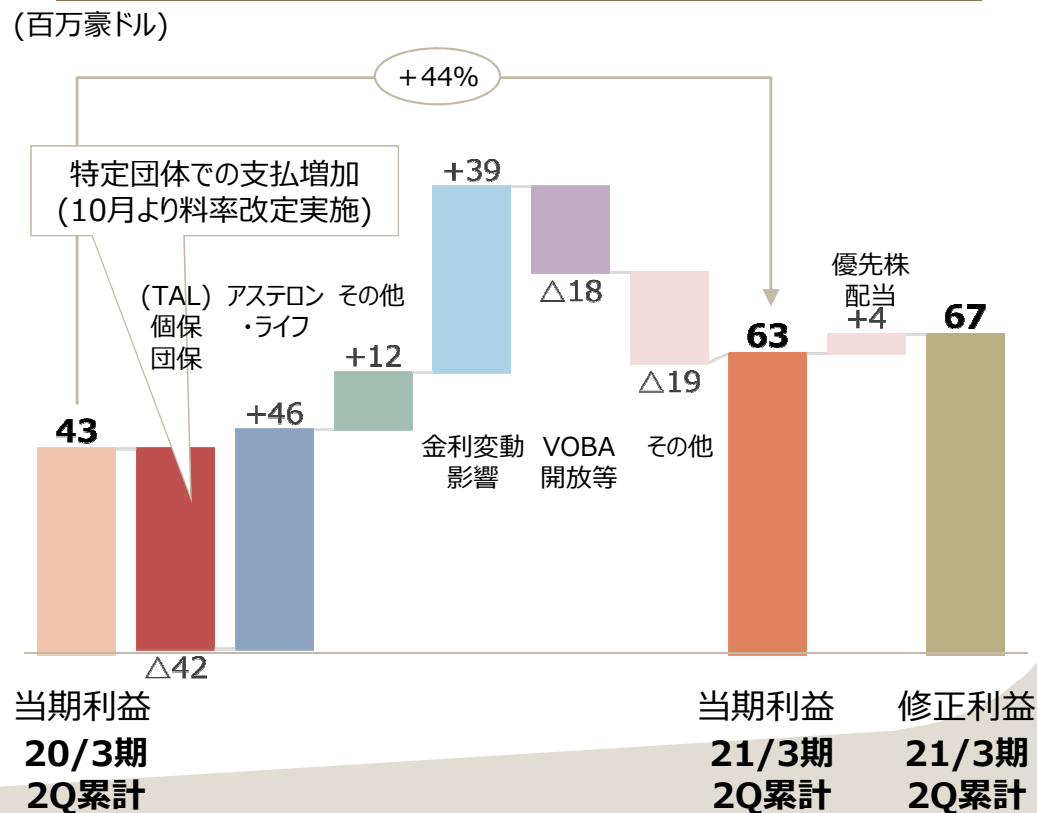
- ▶ 基礎的収益力は、アステロン・ライフの貢献を主因に前年同期比+34%増加の66百万豪ドル
特定団体における保険金支払増加の影響を大きく受けているものの、10月より料率改定(料率引き上げ)を実施
- ▶ 当期純利益は、上記に加えて金利変動によるプラス寄与が加わり、+44%増加の63百万豪ドル

単体業績

(百万豪ドル)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	前年 同期比	(%)
保険料等収入	2,513	2,899	+ 385	+ 15%
基礎的収益力(税引後)	49	66	+ 17	+ 34%
個人保険	66	62	△ 4	△ 6%
団体保険	15	△ 22	△ 38	-
アステロン・ライフ	△ 5	41	+ 46	-
その他(基礎的項目)	△ 27	△ 14	+ 12	-
基礎的収益外損益(税引後)	△ 5	△ 3	+ 2	
金利変動に伴う資産・保険負債の変動	△ 6	33	+ 39	
VOBAの開放等	30	12	△ 18	
優先株配当等	△ 9	△ 8	+ 0	
その他	△ 20	△ 40	△ 20	
当期純利益(損失)	43	63	+ 19	+ 44%
当期純利益(損失) ※円換算後: 億円	32	47	15	+ 49%
決算為替レート(対円)	72.88	75.49	2.61	+ 4%

(億円)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	前年 同期比	(%)
修正利益	36	51	+ 14	+ 41%

当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異



[グループ各社の業績概要]

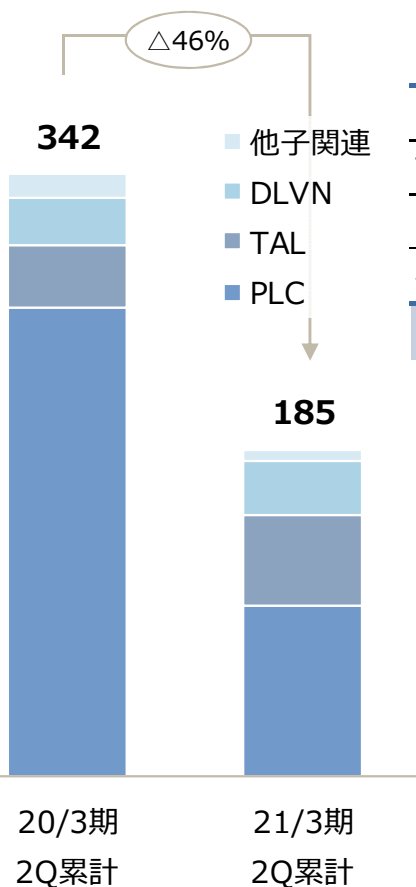
海外生命保険事業・アセットマネジメント事業



Dai-ichi Life Holdings

- ▶ 海外生保事業の修正利益は、豪TALやDLVN(ベトナム)が増益となったものの、米PLCの減益や設立間もないDLKH(カンボジア)やDLMM(ミャンマー)の費用負担等もあり、全体で前年同期比△46%減少の185億円
- ▶ アセットマネジメント事業は、JHが1Q(1-3月期)に無形固定資産等の減損損失を計上したことなどが影響し、△62%減少の21億円

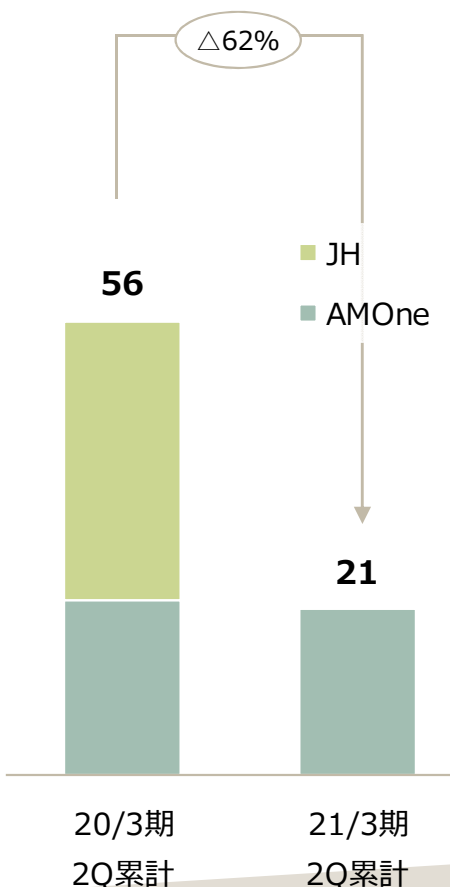
海外生命保険事業 修正利益合計



(億円)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減(%)
PLC ⁽¹⁾	265	97	△63%
TAL	36	51	+41%
DLVN ⁽¹⁾	27	31	+15%
他子関連 ⁽¹⁾	12	6	△52%
	342	185	△46%

※他子関連会社はDLKH・DLMM・SUD・PDL・OLIの5社

アセットマネジメント事業 修正利益合計



(億円)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減(%)
AMOne	21	20	△4%
JH ⁽¹⁾	34	0	△98%
	56	21	△62%

[参考] 預り運用資産(兆円)

	20/3期	21/3期	増減(%)
AMOne	53	54	+3%
JH ⁽¹⁾	38	36	△6%

※AMOne・JHは当社の持分法適用関連会社

(1) 決算日が12月31日の子関連会社はPLC・DLVN・DLKH・DLMM・PDL・OLI・JHの7社



グループEEV (European Embedded Value)

EEV – ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー (1)

- ▶ グループEEVは、金融市場の回復等から国内生保を中心に増加し、前期末比+9,408億円(+17%)増加の6兆5,628億円
- ▶ 新契約価値は、販売量が減少したDLが前年同期比△334億円減少したことを主因に、△394億円(△61%)減少の256億円
新契約マージンは、DLにおける販売量の減少や海外金利の低下等によるDFL・米PLCのマージン悪化が影響し低下

(億円)	20/3末	20/9末	増減
第一生命グループEEV	56,219	65,628	+9,408
対象事業 (covered business) のEEV ⁽¹⁾	57,613	66,415	+8,802
修正純資産	66,293	69,814	+3,520
保有契約価値	△ 8,680	△ 3,399	+5,281
対象事業以外の純資産等に係る調整 ⁽²⁾	△ 1,393	△ 786	+606

(億円)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減
新契約価値 (A)	650	256	△ 394
収入保険料現価 (B)	21,583	13,900	△ 7,682
新契約マージン (A/B)	3.02%	1.84%	△ 1.17pts

- (1) 対象事業(covered business)とは、EEV原則で定められているEV手法を適用した範囲のことで、EEV原則では、対象事業のEEVを開示することを求めています
第一生命グループでは従前は、第一生命グループが行うすべての事業を対象事業としていましたが、2016年10月1日付の持株会社体制移行後は、生命保険事業を行う子会社(DL、DFL、NFL、米PLC、豪TAL、DLVN(ベトナム)およびこれらの子会社)を対象事業としました
- (2) 「対象事業以外の純資産等に係る調整」には、第一生命ホールディングスの単体貸借対照表の純資産の部(20/3末:12,502億円、20/9末:13,068億円)、第一生命ホールディングスの生命保険事業子会社6社に対する出資に係る調整(20/3末:△14,462億円、20/9末:△14,505億円)、第一生命ホールディングスが保有する資産・負債を時価評価する調整が含まれます

EEV - ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー (2)

グループ各社(国内)のEEV

(億円)

第一生命	20/3末	20/9末	増減
EEV	42,964	49,928	+6,963
修正純資産	56,310	57,439	+1,128
保有契約価値	△ 13,346	△ 7,511	+5,835

第一フロンティア生命	20/3末	20/9末	増減
EEV	1,912	4,145	+2,233
修正純資産	3,782	5,382	+1,599
保有契約価値	△ 1,870	△ 1,236	+633

EEVに一定の運用利回りを反映した試算値 ⁽¹⁾	約4,700	約5,400	約+700
-------------------------------------	--------	--------	-------

ネオファースト生命	20/3末	20/9末	増減
EEV	1,147	1,553	+406
修正純資産	45	271	+226
保有契約価値	1,102	1,282	+180

(億円)

	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減
新契約価値	573	238	△ 334
収入保険料現価	9,503	5,841	△ 3,662
新契約マージン	6.03%	4.09%	△ 1.95pts

	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減
新契約価値	△ 92	△ 74	+17
収入保険料現価	6,411	2,873	△ 3,538
新契約マージン	△ 1.44%	△ 2.60%	△ 1.15pts

新契約価値に一定の運用利回りを反映した試算値 ⁽¹⁾	-	約60	-
---------------------------------------	---	-----	---

	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減
新契約価値	78	73	△ 5
収入保険料現価	653	705	+52
新契約マージン	12.08%	10.46%	△ 1.62pts
新契約価値*	104	97	△ 7
新契約マージン*	15.99%	13.78%	△ 2.21pts

*均衡事業費ベース

(1) 第一フロンティア生命については、保険監督者国際機構(IAIS)が検討する国際資本基準(ICS)を参考に一定の運用利回りを反映した試算値を記載しています
当該試算値は、第三者機関(アクチュアリー・ファーム)による検証を受けていないため、今後の検証の結果では水準が変動する可能性があります

EEV - ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー (3)

グループ各社(海外)のEEV

(億円)

米プロテクトティブ	19/12末	20/6末	増減
EEV	7,653	6,340	△ 1,313
修正純資産	4,104	4,374	+ 269
保有契約価値	3,549	1,965	△ 1,583
※為替レート (円/米ドル)	109.56	107.74	

豪TAL	20/3末	20/9末	増減
EEV	3,172	3,686	+ 513
修正純資産	1,788	2,076	+ 287
保有契約価値	1,384	1,609	+ 225
※為替レート (円/豪ドル)	66.09	75.49	

第一生命ベトナム	19/12末	20/6末	増減
EEV	944	955	+ 11
修正純資産	443	465	+ 22
保有契約価値	500	490	△ 10
※為替レート (円/越ドン)	0.0047	0.0046	

(億円)

	19/12期 2Q累計	20/12期 2Q累計	増減
新契約価値	△ 3	△ 63	△ 59
収入保険料現価	3,285	3,211	△ 74
新契約マージン	△ 0.12%	△ 1.98%	△ 1.87pts
※為替レート (円/米ドル)	107.79	107.74	

	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減
新契約価値	58	39	△ 18
収入保険料現価	1,342	846	△ 495
新契約マージン	4.33%	4.62%	+ 0.30pts
※為替レート (円/豪ドル)	72.88	75.49	

	19/12期 2Q累計	20/12期 2Q累計	増減
新契約価値	36	42	+ 6
収入保険料現価	385	421	+ 36
新契約マージン	9.49%	10.16%	+ 0.67pts
※為替レート (円/越ドン)	0.0046	0.0046	

第一生命グループ及び第一生命のEEV感応度(2020年9月末)

第一生命グループ

(単位：億円、上段：変化額、下段：EEVに対する変化率)

前提条件	EEV感応度	対象事業のEEV	対象事業以外の 純資産等に係る調整	新契約価値	[対象事業のEEV感応度の内訳]	
					修正純資産	保有契約価値
リスク・フリー・レート50bp上昇	2,812 4%	2,756 4%	56 0%	66 26%	△ 15,619 △ 24%	18,375 28%
リスク・フリー・レート50bp低下	△ 3,898 △ 6%	△ 3,840 △ 6%	△ 58 △ 0%	△ 79 △ 31%	17,093 26%	△ 20,933 △ 32%
株式・不動産価値10%下落	△ 4,469 △ 7%	△ 4,308 △ 7%	△ 160 △ 0%	△ 0 △ 0%	△ 4,142 △ 6%	△ 165 △ 0%
第一生命グループのEEV	65,628	66,415	△ 786	256		

第一生命

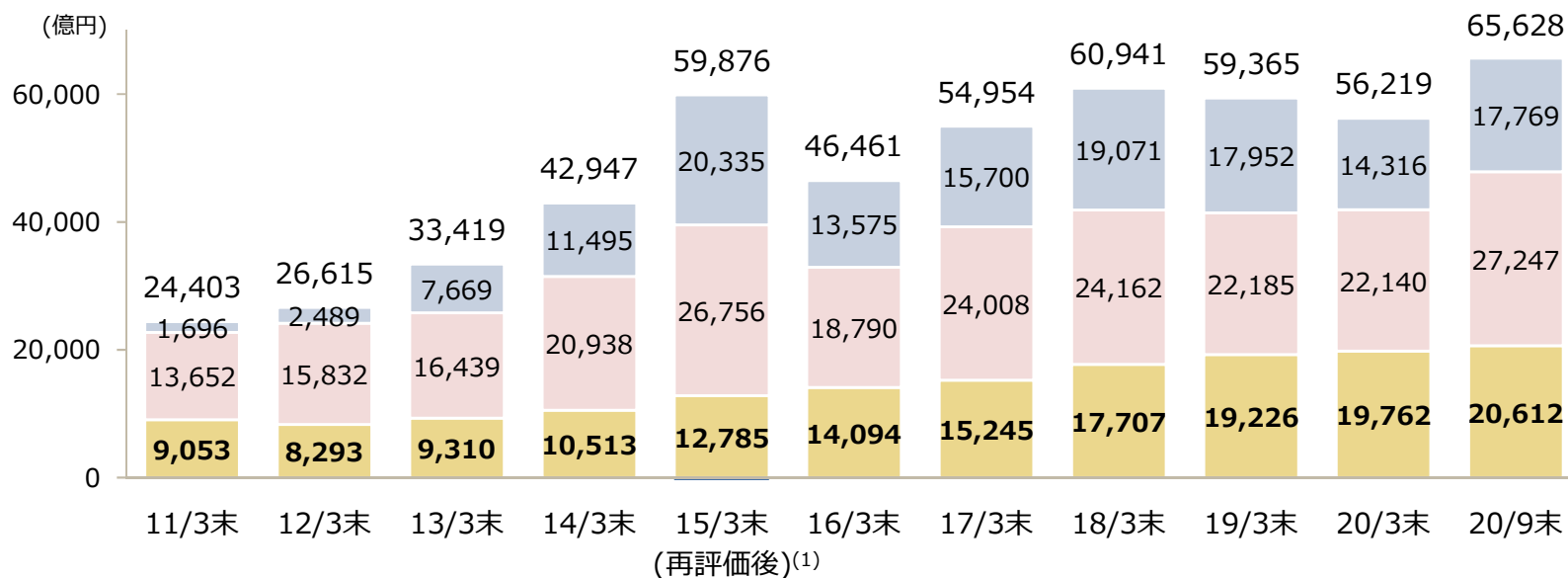
(単位：億円、上段：変化額、下段：EEVに対する変化率)

前提条件	EEV感応度	新契約価値	[EEV感応度の内訳]	
			修正純資産	保有契約価値
リスク・フリー・レート50bp上昇	2,507 5%	49 21%	△ 13,815 △ 28%	16,323 33%
リスク・フリー・レート50bp低下	△ 3,574 △ 7%	△ 60 △ 25%	15,165 30%	△ 18,739 △ 38%
株式・不動産価値10%下落	△ 4,264 △ 9%	- -	△ 4,264 △ 9%	- -
第一生命のEEV	49,928	238		

資産・負債の対応を考慮したEEVの再分類

資産・負債の対応を考慮した再分類				資産・負債の対応を考慮した再分類			
(億円)	20/3末	20/9末	増減	(億円)	20/3末	20/9末	増減
第一生命グループEEV	56,219	65,628	+9,408	第一生命グループEEV	56,219	65,628	+9,408
対象事業(covered business)のEEV	57,613	66,415	+8,802	確定利付資産以外の含み損益等 ⁽²⁾	14,316	17,769	+3,453
修正純資産	66,293	69,814	+3,520	保有契約価値+確定利付資産の含み損益等 ⁽³⁾	22,140	27,247	+5,106
保有契約価値	△ 8,680	△ 3,399	+5,281	純資産等+負債中の内部留保 ⁽⁴⁾	19,762	20,612	+849
対象事業以外の純資産等に係る調整	△ 1,393	△ 786	+606				

資産・負債の対応を考慮した再分類による第一生命グループEEVの推移



保有契約価値+含み損益等:
保険契約の保有により生じる将来利益

確定利付資産以外の
含み損益等⁽²⁾

保有契約価値
+ 確定利付資産の含み損益等⁽³⁾

純資産等
+ 負債中の内部留保⁽⁴⁾
: **実現利益の累積額に相当**

(1) 終局金利を用いた方法による再評価後の数値を記載

(2) DLが保有する確定利付資産以外の資産（株式、外貨建債券(ヘッジ外債を除く)、不動産等)の含み損益等の額を計上

(3) 保有契約価値に、DLの確定利付資産ならびにDFLおよびNFLの資産の含み損益等を加算・調整した額を計上

本項目は、未実現利益のうち、主に金利の影響を受ける部分であり、金利水準等の変化に応じた、保有契約価値および確定利付資産の含み損益等の変動額は、お互いに相殺関係にあります

(4) 対象事業のEEVの修正純資産に対象事業以外の純資産等に係る調整を反映し、含み損益等を除いた額を計上



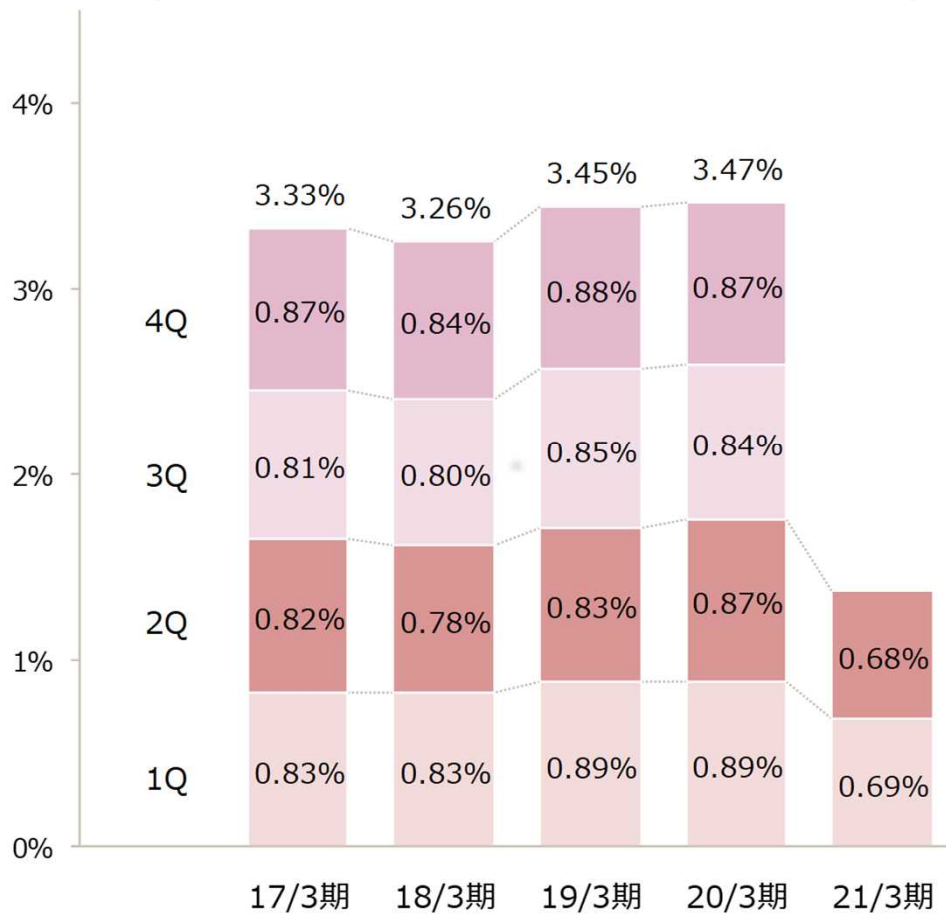
参考データ

[第一生命] 営業関連指標 – 解約失効・営業職数および生産性

解約失効(個人保険・個人年金 年換算保険料ベース)

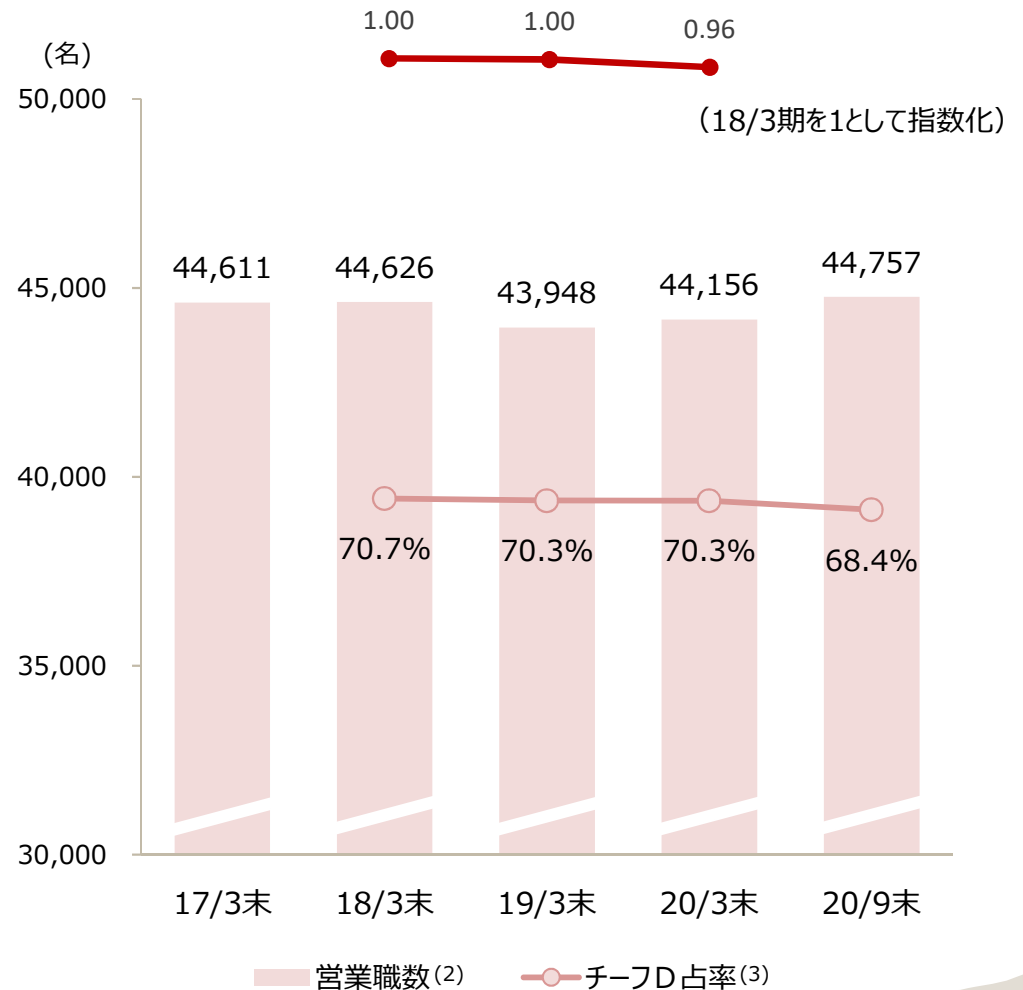
解約失効率

(解約失効年換算保険料/年度始保有契約年換算保険料)



営業職数および生産性

一人あたり新契約価値⁽¹⁾



(1) 各期の新契約価値を分子、営業職数(補助的業務に従事する者を除く)の平均値を分母として計算

(2) 営業職については、DLと委任契約を締結しかつ生命保険募集人登録をしている者のうち、その他補助的業務に従事する者を除く

(3) 所定の成績水準を満たす生涯設計デザイナーにライブプロフェッショナル職を加えた、DLの中核たる営業職の占率、現行基準により18/3末より掲載

[第一生命] 資産運用の状況① – 資産運用収益・費用の内訳

利息・配当金等収入の内訳

(億円)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	前年同期比	(%)
利息・配当金等収入	3,885	4,120	+ 235	+ 6%
公社債	1,401	1,364	△ 37	△ 3%
株式	371	284	△ 86	△ 23%
外国証券	1,362	1,529	+ 167	+ 12%
その他の証券	125	352	+ 227	+ 182%
貸付金	207	191	△ 15	△ 8%
不動産	374	368	△ 6	△ 2%

[参考] 20/3期 有価証券運用利回り

(億円)	利息・配当金等収入	日々平均残高	利回り ⁽¹⁾
一般勘定計	7,865	332,325	2.37%
公社債	2,788	154,237	1.81%
株式	735	15,740	4.68%
外国証券	2,872	97,580	2.94%
その他の証券	222	7,769	2.87%
貸付金	408	23,996	1.70%
不動産 ⁽²⁾	753	8,049	9.36%

有価証券売却損益・有価証券評価損の内訳

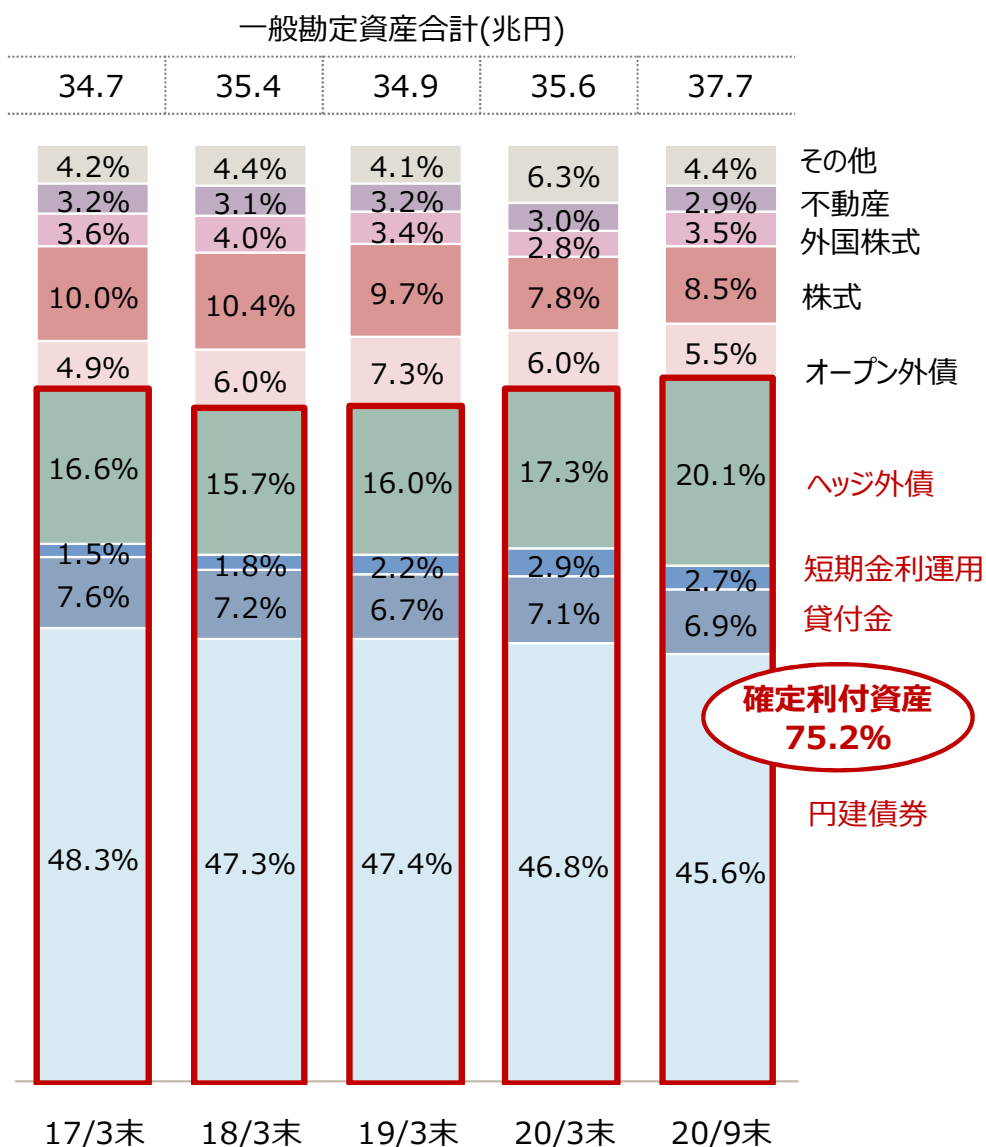
(億円)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	前年同期比	(%)
有価証券売却益	1,081	1,319	+ 237	+ 22%
公社債	560	426	△ 134	△ 24%
株式	307	236	△ 71	△ 23%
外国証券	201	647	+ 445	+ 221%
その他の証券	11	8	△ 2	△ 20%
有価証券売却損	258	430	+ 172	+ 67%
公社債	0	3	+ 2	+ 853%
株式	30	10	△ 20	△ 67%
外国証券	219	279	+ 59	+ 27%
その他の証券	7	137	+ 129	+ 1,700%
有価証券売却損益	823	888	+ 65	+ 8%
有価証券評価損	142	79	△ 63	△ 44%
公社債	-	-	-	-
株式	44	46	+ 2	+ 5%
外国証券	98	32	△ 65	△ 67%
その他の証券	-	-	-	-

(1) 利息・配当金等収入を分子、日々平均残高を分母として計算

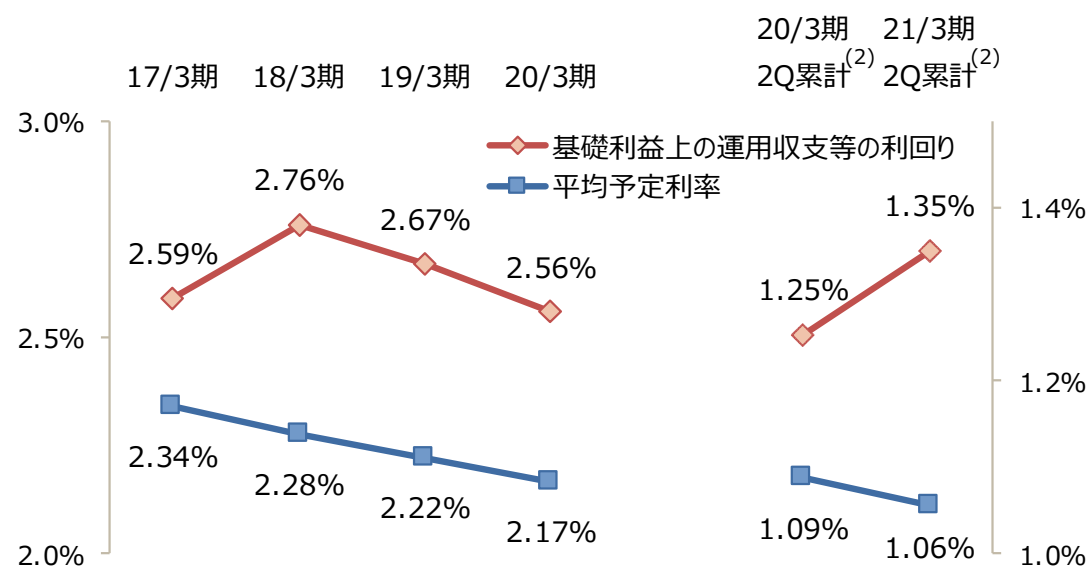
(2) 投資用不動産

[第一生命] 資産運用の状況② – 運用資産構成・資産運用利回りと平均予定利率

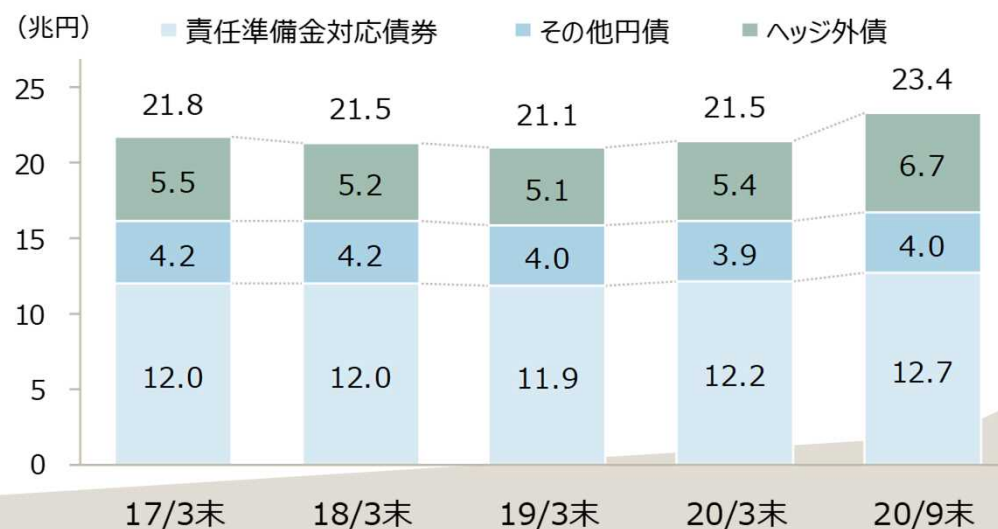
運用資産の構成(一般勘定)⁽¹⁾



資産運用利回りと平均予定利率



確定利付資産における債券積み増し状況⁽³⁾



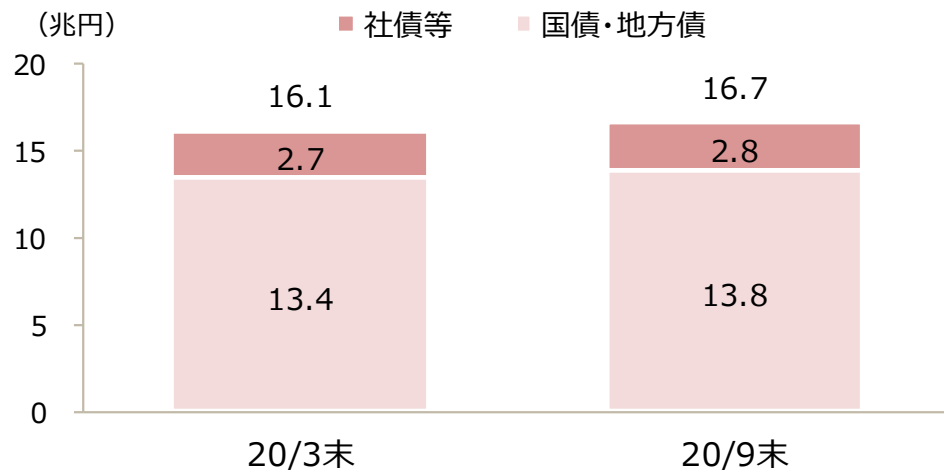
(1) 貸借対照表価額ベース

(2) 決算対象期間における基礎利益上の運用収支等・予定利息に対する利回り・利率

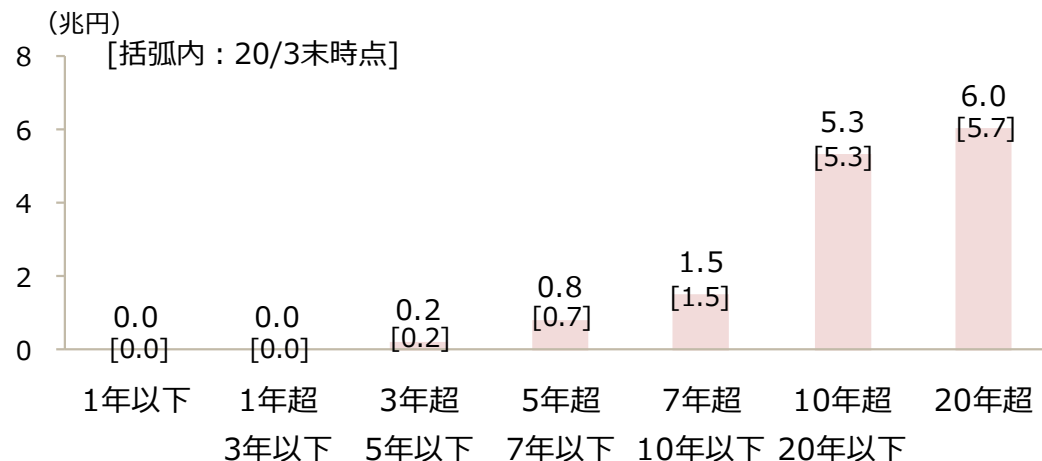
(3) 簿価ベース

[第一生命] 資産運用の状況③ - 円建・外貨建債券の状況

円建債券の内訳⁽¹⁾

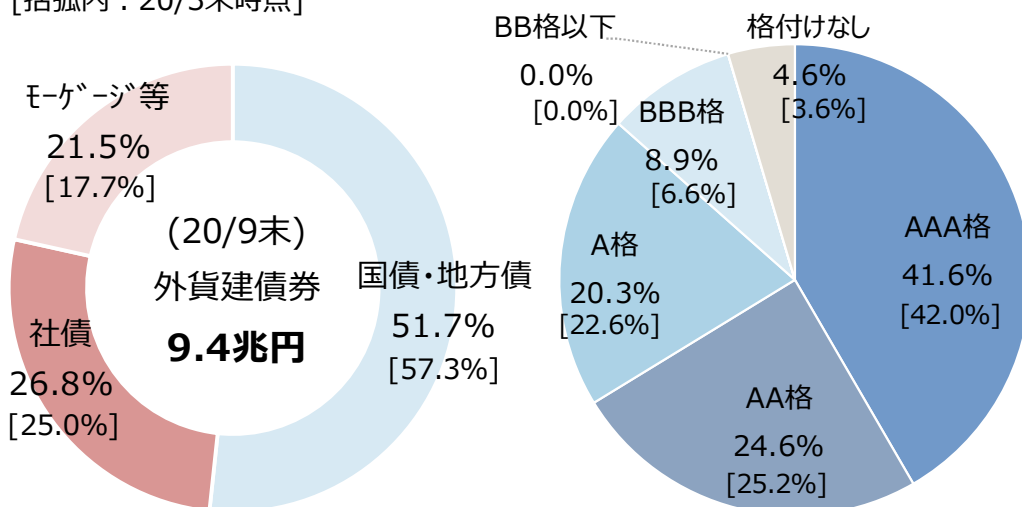


国債の残存期間別残高⁽²⁾ (20/9末)

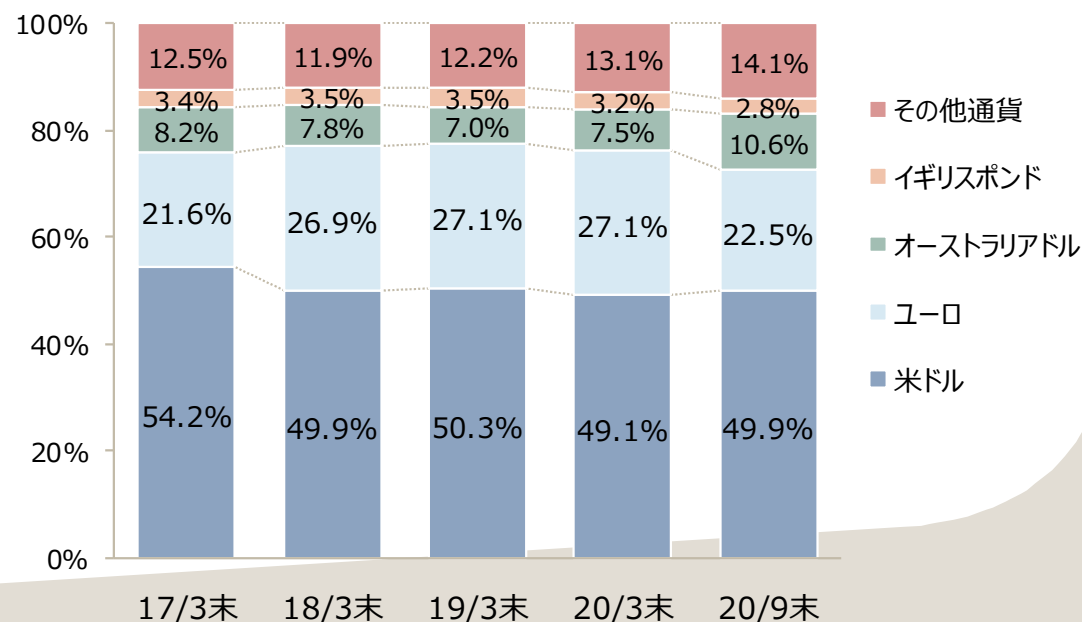


外貨建債券の内訳⁽²⁾⁽³⁾ (20/9末)

[括弧内：20/3末時点]



外貨建債券の通貨別構成⁽²⁾



(1) 簿価ベース
 (2) 貸借対照表価額ベース
 (3) 格付けはS&P・Moody'sの2社の格付け機関による格付けの中間の評価を採用、モーゲージ等を除く



[第一生命] 健全性指標 – 含み損益とソルベンシー・マージン比率

含み損益(一般勘定)の状況

(億円)	20/3末	20/9末	前期末比	(%)
有価証券	54,238	57,828	+ 3,589	+ 7%
国内債券	32,216	28,979	△ 3,236	△ 10%
国内株式	12,611	16,791	+ 4,180	+ 33%
外国債券	8,643	10,652	+ 2,008	+ 23%
外国株式	523	1,274	+ 750	+ 143%
不動産	3,326	3,448	+ 122	+ 4%
その他共計	58,021	61,618	+ 3,597	+ 6%

含み損益の市場感応度⁽¹⁾

含み損益ゼロ水準⁽²⁾

国内債券

10年国債利回り10bpの変動で
2,800億円の増減※
(2020年3月末: 2,700億円)
※其他有価証券区分: 200億円の増減
(2020年3月末: 300億円)

10年国債利回り 1.0%※
(2020年3月末: 1.2%)
※其他有価証券区分: 1.5%
(2020年3月末: 1.5%)

国内株式

日経平均株価1,000円の変動で
1,300億円の増減
(2020年3月末: 1,400億円)

日経平均株価 ¥10,800
(2020年3月末: ¥10,200)

外国証券

ドル/円 1円の変動で
270億円の増減
(2020年3月末: 250億円)

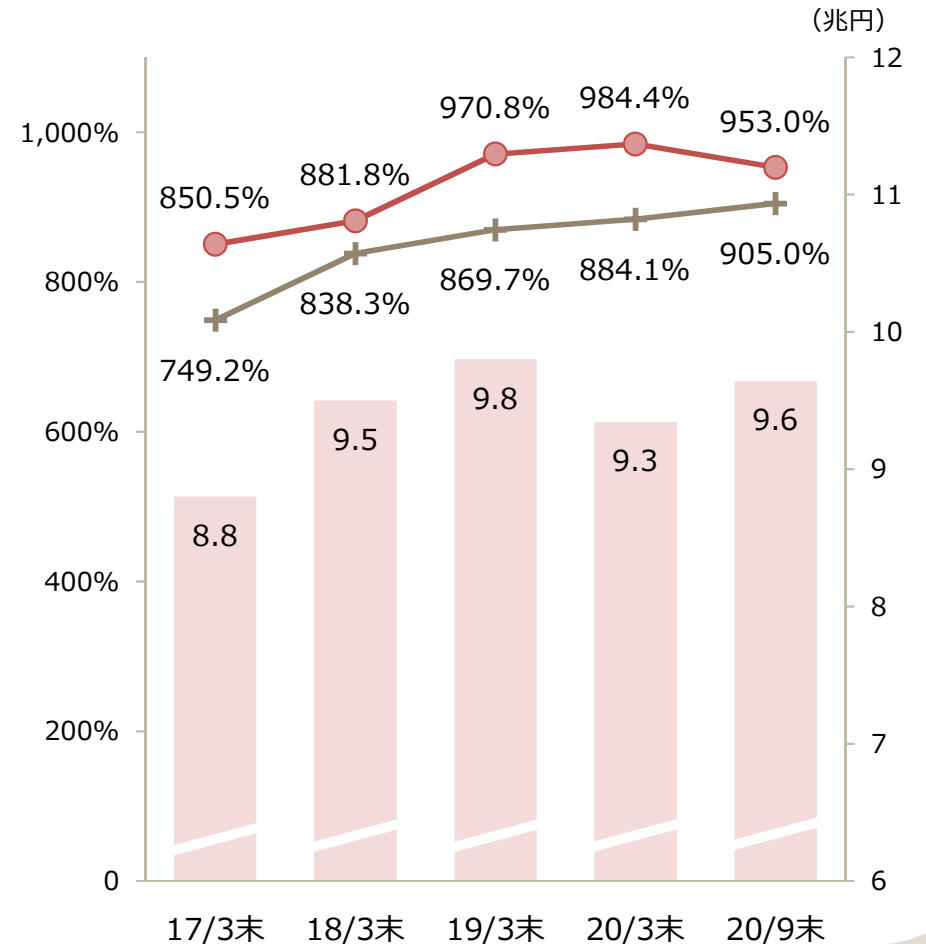
ドル/円 \$1 = ¥107
(2020年3月末: ¥111)

ソルベンシー・マージン比率および実質純資産額

第一生命単体 実質純資産額(右軸)

第一生命単体 ソルベンシー・マージン比率

(参考)第一生命ホールディングス連結 ソルベンシー・マージン比率

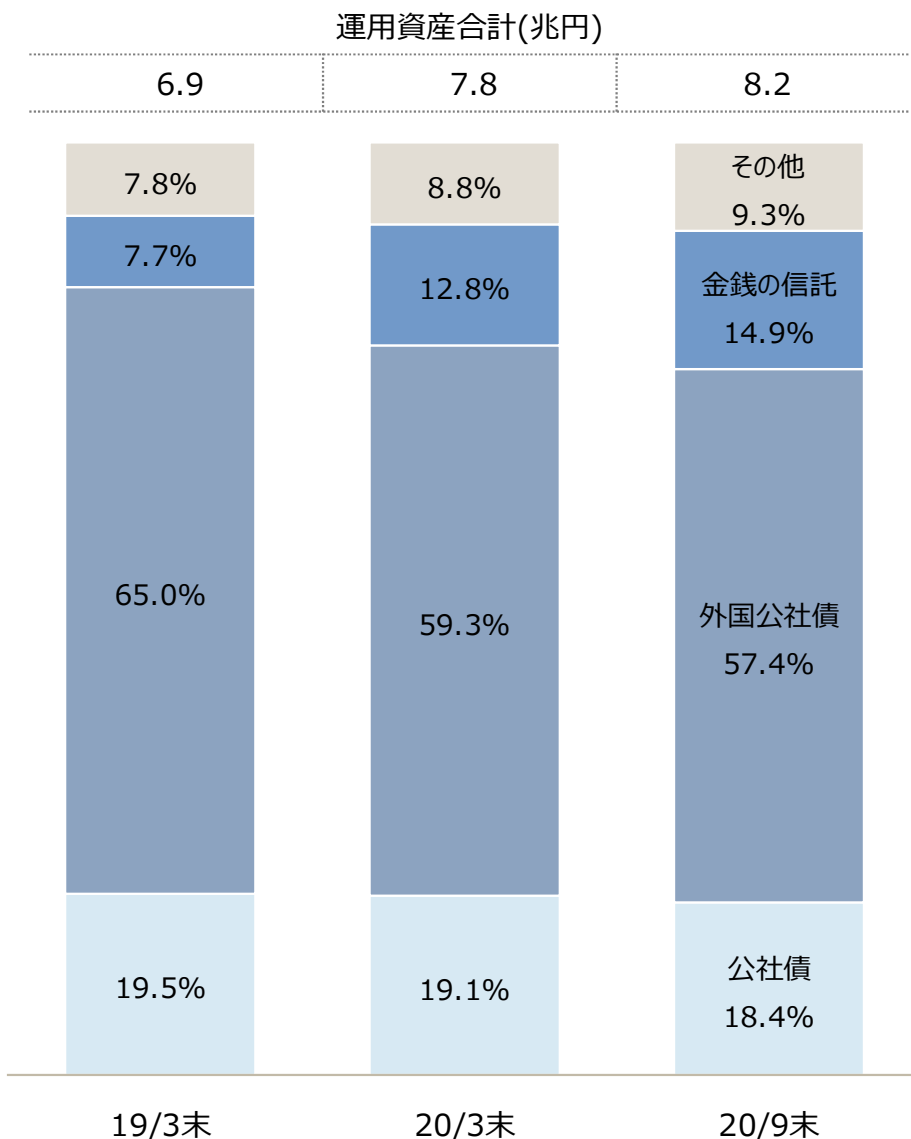


(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度

(2) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準であり、外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロとなる水準

[第一フロンティア生命] 資産運用の状況 – 運用資産構成

運用資産の構成(一般勘定) (1)

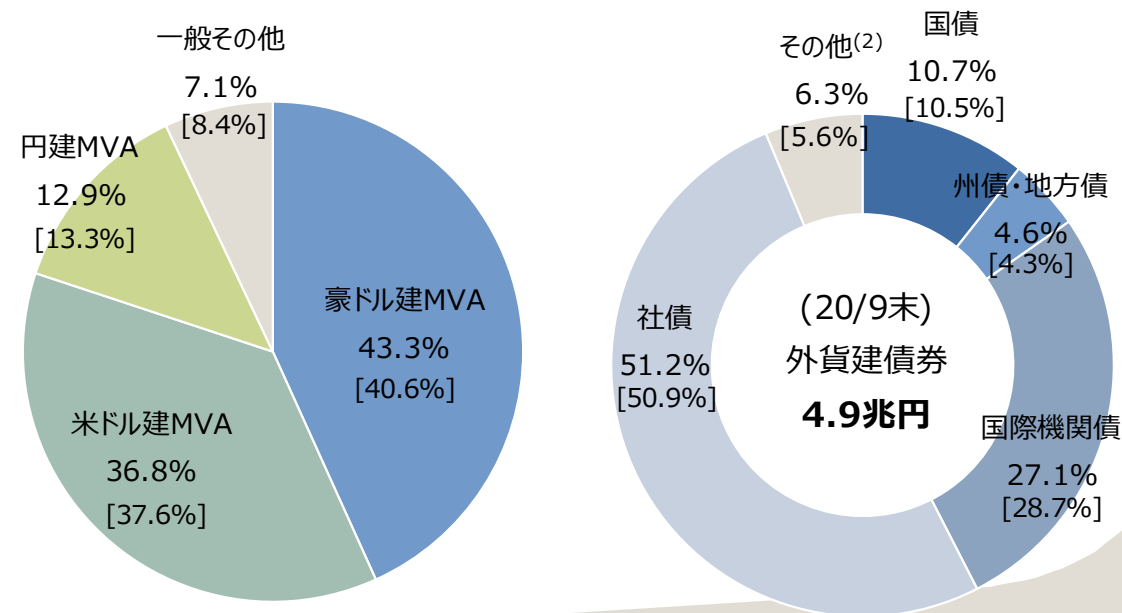


保有目的区分別有価証券の状況 (20/9末)

(億円)	簿価	時価	含み損益
責任準備金対応債券	31,537	34,948	+ 3,410
その他有価証券	29,512	32,800	+ 3,287
公社債	4,224	4,418	+ 193
外国証券	23,581	26,517	+ 2,936
その他の証券	1,706	1,865	+ 158

運用区分別資産残高(一般勘定)と外貨建債券の内訳

[括弧内：20/3末時点]



(1) 貸借対照表価額ベース

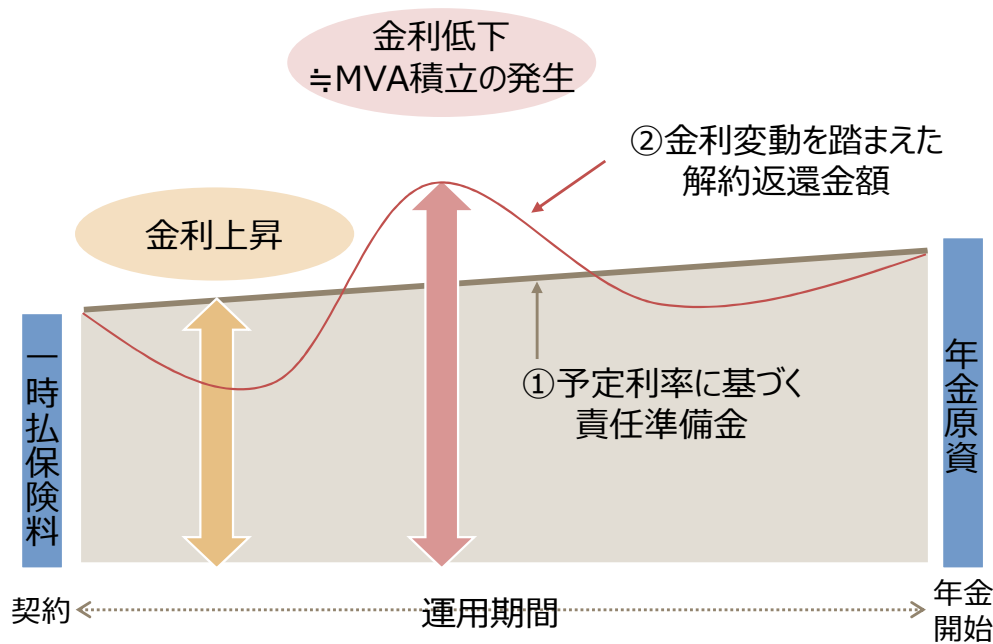
(2) 国債・社債を裏付けとする仕組み債を含みます



市場価格調整(MVA)に係る損益について

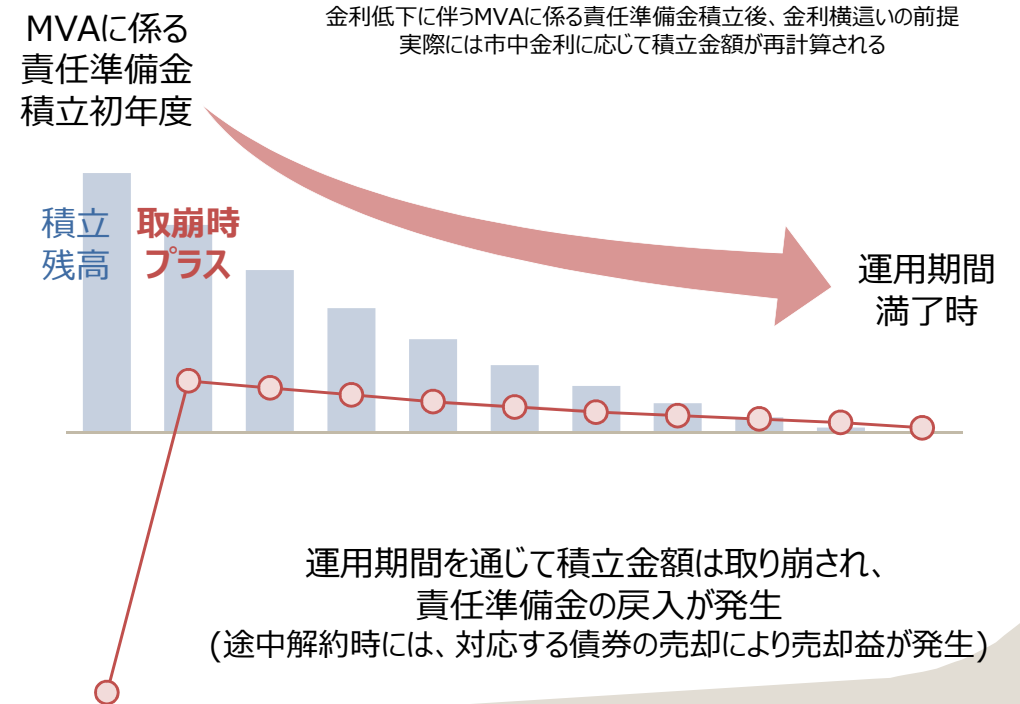
- ▶ 市場価格調整(MVA)付き商品の負債は、会計上、金利低下により「金利変動を踏まえた解約返還金額」が「予定利率に基づく責任準備金」を上回る場合、差額の責任準備金の積立が発生
- ▶ MVAに係る損益は、期間を通算すれば収支への影響はニュートラルなことから、グループ修正利益には含めない

MVAに係る責任準備金の積立発生(イメージ)



各期末における会計上の負債評価額は、①または②の大きい金額となり、金利低下により② > ①となる場合、差額の責任準備金の積立を実施

MVAに係る責任準備金残高と会計損益への影響(イメージ)



運用期間を通じて積立金額は取り崩され、責任準備金の戻入が発生 (途中解約時には、対応する債券の売却により売却益が発生)

会計損益は
積立時マイナス

[米プロテクトティブ・豪TAL] 営業の状況 – セグメント別営業業績

米プロテクトティブ 営業業績

(百万米ドル)	19/12期 2Q累計	20/12期 2Q累計	前年 同期比	(%)
リテール保険&年金事業	1,227	1,244	+ 16	+ 1%
伝統的保険	104	117	+ 13	+ 13%
ユニバーサル保険	55	22	△ 32	△ 59%
定額年金	958	1,010	+ 52	+ 5%
変額年金	109	93	△ 15	△ 15%
ステーブルバリュー事業	1,350	1,003	△ 347	△ 26%
アセットプロテクション事業	245	228	△ 16	△ 7%

豪TAL営業業績⁽¹⁾

(百万豪ドル)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	前年 同期比	(%)
新契約年換算保険料	119	58	△ 61	△ 51%
(TAL) 個人保険	39	38	△ 0	△ 2%
団体保険	72	18	△ 54	△ 75%
アステロン・ライフ	8	2	△ 6	△ 74%
既契約増減	41	△ 54	△ 95	-
(TAL) 個人保険	69	56	△ 12	△ 19%
団体保険	△ 68	△ 178	△ 110	-
アステロン・ライフ	40	67	+ 27	+ 68%

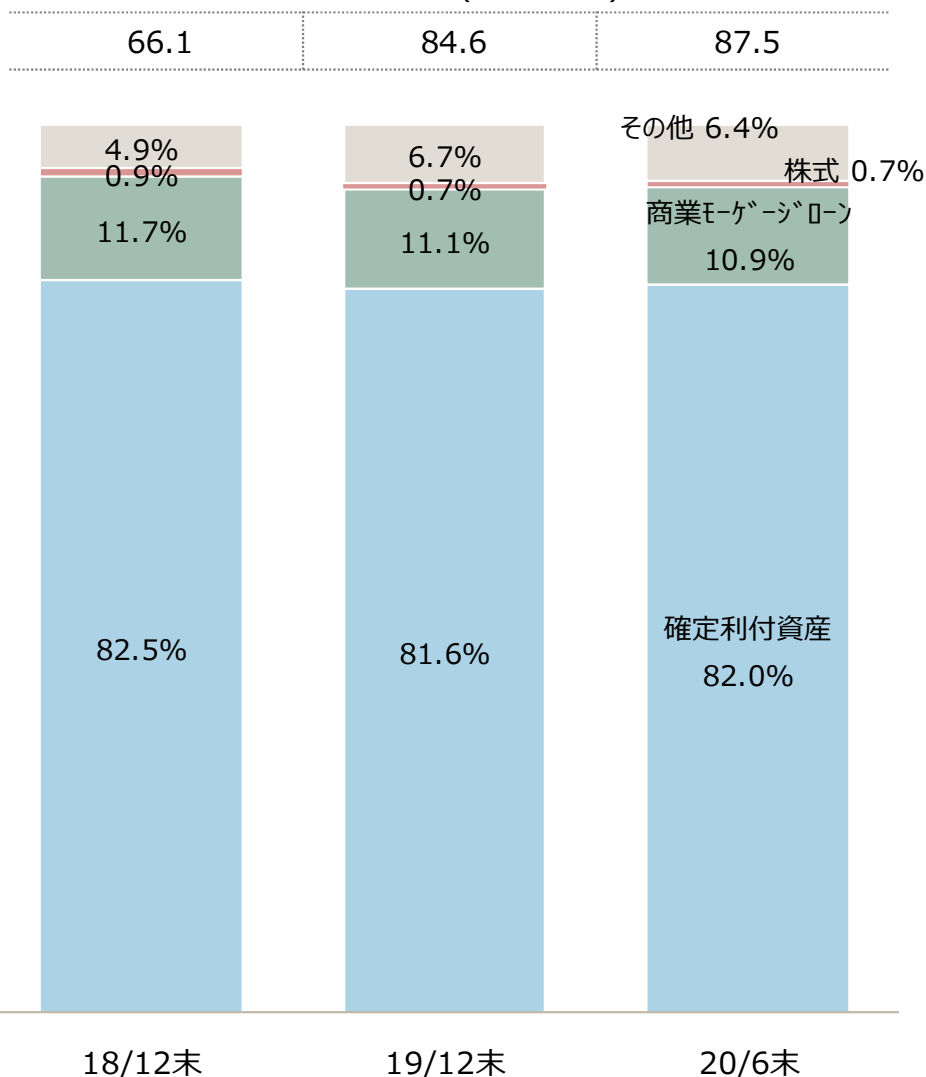
※既契約増減は契約更新や料率改定等に伴う既契約の年換算保険料の増減を示す

(1) 21/3期1Qより新契約年換算保険料の計上基準を変更し、従来含めていた既契約増減を除いています
 過年度の数値も変更後の基準で記載しています

[米プロテクティブ] 資産運用の状況 - 運用資産構成

運用資産の構成(一般勘定) (1)

運用資産合計(十億米ドル)

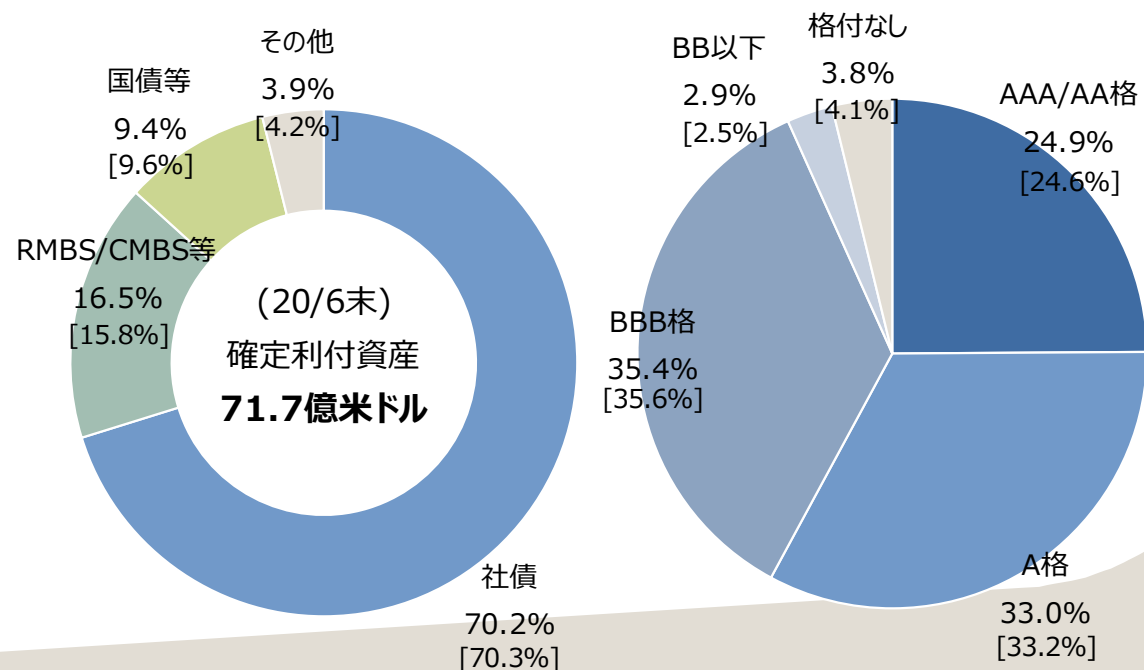


商業モーゲージローンの状況

(百万米ドル)	19/12末	20/6末	増減
商業モーゲージローン(引当前)	9,464	9,718	+ 254
不良債権	3	3	+ 0
貸倒引当金(2)	85	173	+ 88
(対ローン残高)	0.9%	1.8%	+ 0.88pts

確定利付資産の内訳および格付構成(3)

[括弧内：19/12末時点]



(1) 貸借対照表価額ベース

(2) 2020年1月より現在予想信用損失(CECL)を適用しており、19/12末の貸倒引当金は1/1時点の適用後残高を記載

(3) 非格付の債券は主にキャプティブ子会社のリザーブファイナンスに係るもの

グループ修正利益

		No.	13/3期	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期 2Q累計	20/3期	21/3期 2Q累計
(億円)												
国内生命保険事業												
第一生命	当期利益	1	514	855	1,521	1,291	1,171	1,699	1,729	1,063	1,286	512
	調整(1) 危険準備金繰入額(法定超過分、税後)	2	499	249	192	129	129	-	-	-	216	-
	調整(2) 価格変動準備金繰入額(法定超過分、税後)	3	-	97	-	-	-	-	-	-	-	-
	調整(3) 市場価格調整(MVA) 関連損益(税後)	4	0	△6	△2	△4	△2	△0	△0	△0	△0	△0
	調整(4) 持分変動益	5	-	-	-	-	-	-	△14	-	-	-
	調整額合計	6	499	340	189	125	127	△0	△14	△0	216	△0
	修正利益	7	1,013	1,195	1,711	1,416	1,299	1,698	1,714	1,063	1,502	512
第一フロンティア生命	当期利益	8	△265	△152	△219	243	502	370	199	△412	△1,000	231
	調整(1) 危険準備金繰入額(法定超過額、税後)	9	153	-	-	-	-	-	-	-	△300	-
	調整(2) 価格変動準備金繰入額(法定超過額、税後)	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	調整(3) 市場価格調整(MVA) 関連損益(税後)	11	1	△9	469	75	△270	△79	7	867	1,935	△8
	調整額合計	12	154	△9	469	75	△270	△79	7	867	1,635	△8
	修正利益	13	△111	△161	249	318	232	291	207	454	634	222
ネオファースト生命	当期利益	14	-	-	4	△71	△59	△83	△85	△67	△163	△77
	修正利益	15	-	-	4	△71	△59	△83	△85	△67	△163	△77
国内生命保険事業修正利益		16	902	1,034	1,966	1,664	1,471	1,906	1,836	1,450	1,974	658
海外保険事業												
プロテクト	修正利益	17	-	-	-	323	457	349	335	265	507	97
TAL	修正利益	18	89	86	121	103	127	105	98	36	110	51
海外保険事業修正利益		19	98	108	157	457	615	468	469	342	703	185
アセットマネジメント事業												
	修正利益	20	18	44	61	59	58	53	104	56	120	21
持株会社	修正利益	21	-	-	-	-	0	3	△35	△25	△44	△20
連結調整	調整(1) 受取配当相殺	22	17	27	36	135	44	-	-	-	-	-
	調整(2) TAL優先株配当	23	-	-	-	-	-	-	10	4	8	3
	調整(3) のれん償却額	24	38	51	86	63	56	70	82	40	564	27
	調整(4) 持分変動益(第一生命)	25	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-
	調整(5) 持分変動益(持株会社)	26	-	-	-	-	△124	△335	-	-	-	-
	調整(6) 米国法人税減税	27	-	-	-	-	-	△901	-	-	-	-
	調整(7) その他	28	△14	△1	△22	△3	0	39	23	△7	5	△10
グループ修正利益(項番29=16+19+20+21-22-23)		29	1,000	1,160	2,147	2,046	2,101	2,432	2,363	1,818	2,745	841
連結当期純利益(項番30=29-6-12-24-25-26-27-28)		30	324	779	1,424	1,785	2,312	3,639	2,250	917	324	833

- ▶ グループ修正利益は、新型コロナに伴う海外生保を中心とした利益低下等により、前期比△34%減少の1,800億円程度の減益を予想
連結純利益は、前期のDFLにおける市場価格調整(MVA)に係る評価性損失等から反転し、大きく改善する見通し
- ▶ 業績予想は、6月末金融環境、国内の新契約業績について、DL・DFLで前期比60~70%、NFLは80~90%程度を想定
グループ新契約価値は、営業制約や国内・海外金利の大幅な低下等が大きく影響し、前期比△41%減少の900億円程度を予想

通期業績予想および業績予想の前提

(億円)	20/3期 通期実績	21/3期 通期予想	前期比	(%)
連結経常収益	71,140	64,870	△ 6,270	△ 9%
第一生命	36,806	35,230	△ 1,576	△ 4%
第一フロンティア生命	20,650	13,760	△ 6,890	△ 33%
米プロテクティブ (百万米ドル)	12,744	9,820	△ 2,924	△ 23%
豪TAL (百万豪ドル)	5,808	5,760	△ 48	△ 1%
連結経常利益	2,183	3,580	+ 1,397	+ 64%
第一生命	2,906	2,970	+ 64	+ 2%
第一フロンティア生命	△ 944	400	+ 1,344	-
米プロテクティブ (百万米ドル)	577	220	△ 357	△ 62%
豪TAL (百万豪ドル)	207	110	△ 97	△ 47%
連結純利益⁽¹⁾	324	1,840	+ 1,516	+ 468%
第一生命	1,286	1,450	+ 164	+ 13%
第一フロンティア生命	△ 1,000	280	+ 1,280	-
米プロテクティブ (百万米ドル)	463	180	△ 283	△ 61%
豪TAL (百万豪ドル)	154	70	△ 84	△ 55%
グループ修正利益	2,745	1,800程度	△ 945	△ 34%
グループ新契約価値⁽²⁾	1,519	900程度	△ 619	△ 41%
1株あたり配当(円)	62	62	-	-
(参考)基礎利益 ⁽³⁾	5,463	4,800程度	△ 663	△ 12%
第一生命	4,221	4,000程度	△ 221	△ 5%

21/3期 通期業績予想の前提

	金融環境	営業活動・保険金等の支払	その他前提
国内生保		<ul style="list-style-type: none"> 営業活動は下期に概ね正常化 [新契約業績の前提] (2Q) 前年同期比40~50% (下期) 70~90% (年間) DL・DFL: 60~70% NFL: 80~90% 程度 コロナ関連の保険金等支払いの影響は限定的 	[DL] 新規再保険(出再)の実施を想定し、臨時損益の発生(約△160億円)を織り込み
海外生保	6月末 “横這い”	<ul style="list-style-type: none"> 米PLC・豪TALともに、個人向け販売は概ね前期水準で推移する前提 [米PLC] ・コロナ感染による米国の死亡者数24万人までの影響を考慮 [豪TAL] ・コロナ関連の保険金支払いの影響は限定的だが、景気減速に伴う所得補償保険等の支払増加を考慮 	

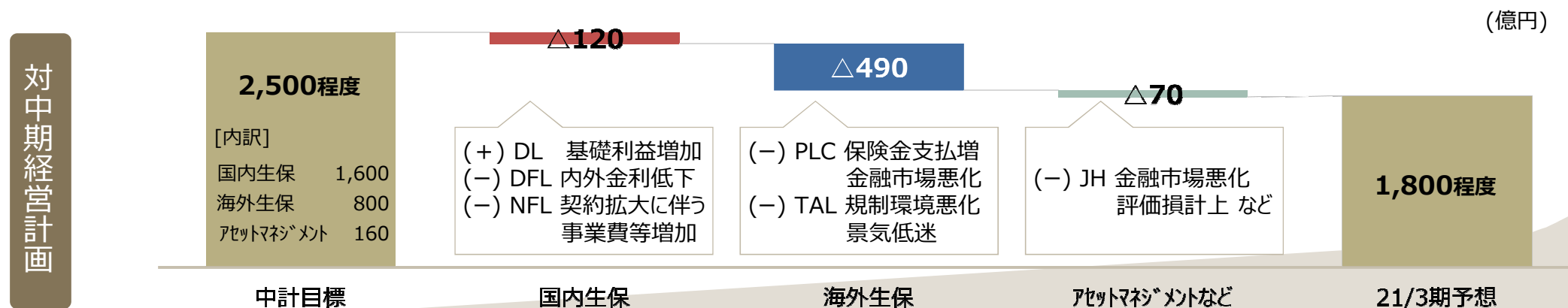
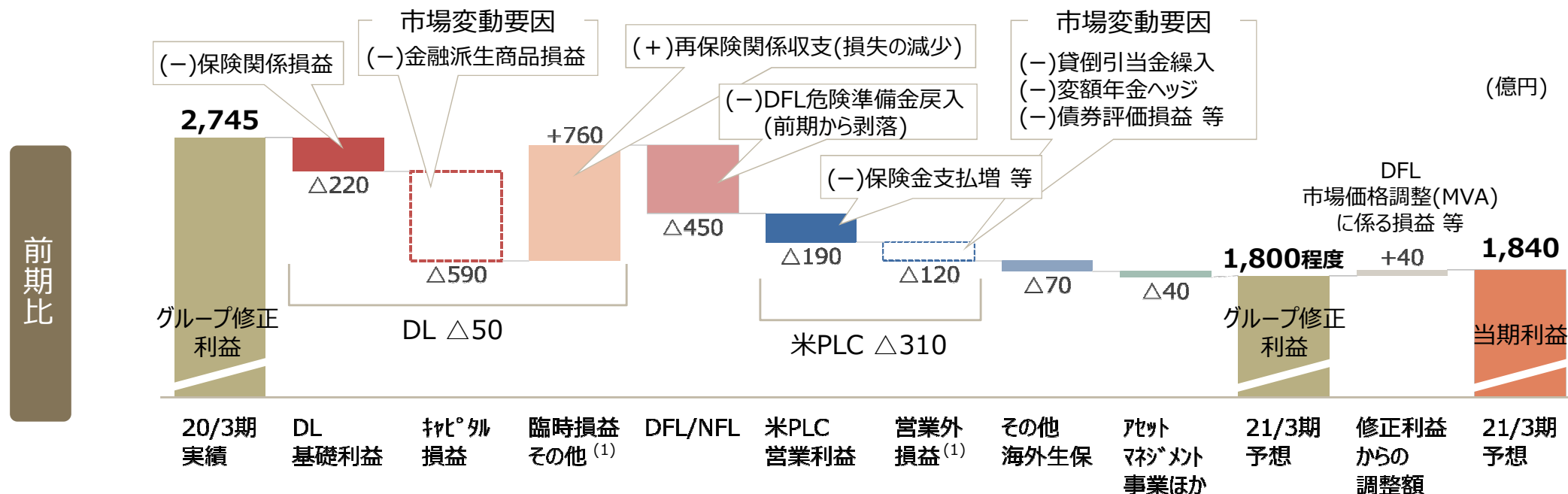
(1) 親会社株主に帰属する当期純利益 (2) アジアの関連会社3社(SUD・PDL・OLI)を含む

(3) 第一フロンティア生命における21/3期1Qからの基礎利益の計上基準の変更に伴い、過年度の数値を変更後の基準で記載しています



2021年3月期 グループ修正利益予想 – 変動要因(前期比・中計目標対比)

- ▶ 前期比では、DLおよび米PLCにおける金融市場変動に伴う利益押し下げ要因が大きく影響する見通し
- ▶ 対中計目標では、国内生保が概ね横ばいとなる一方で、新型コロナに伴う保険金支払の増加や金融市場変動の影響等を主因として海外生保事業が大幅に目標を下回る見通し



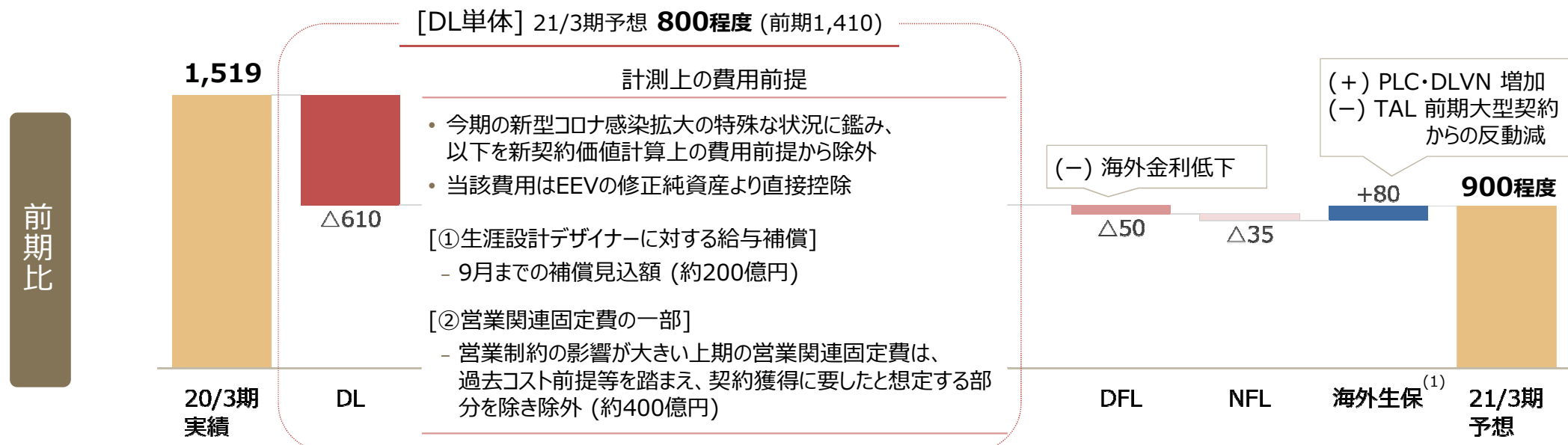
(1) 法人税等の変動を含む



2021年3月期 グループ新契約価値予想 – 変動要因(前期比・中計目標対比)

- ▶ 前期比では新型コロナに伴う営業制約、対中計目標では加えて国内・海外金利の大幅な低下等が大きく影響する見通し
- ▶ DL新契約価値は800億円程度と予想し、新型コロナの特殊な状況に鑑み、生涯設計デザイナーの給与補償や営業関連固定費の一部(契約獲得に要した部分を除く)の合計約600億円を除外して計測予定(除外した費用はEEVの修正純資産より控除する予定)

(億円)



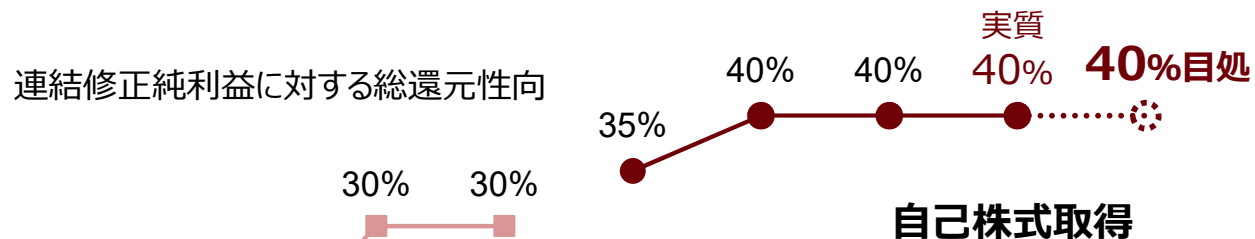
(億円)



(1) アジアの関連会社3社(SUD・PDL・OLI)を含む

株主還元 (1株あたり株主配当・自己株式取得・総還元性向)

グループ修正利益に対する総還元性向

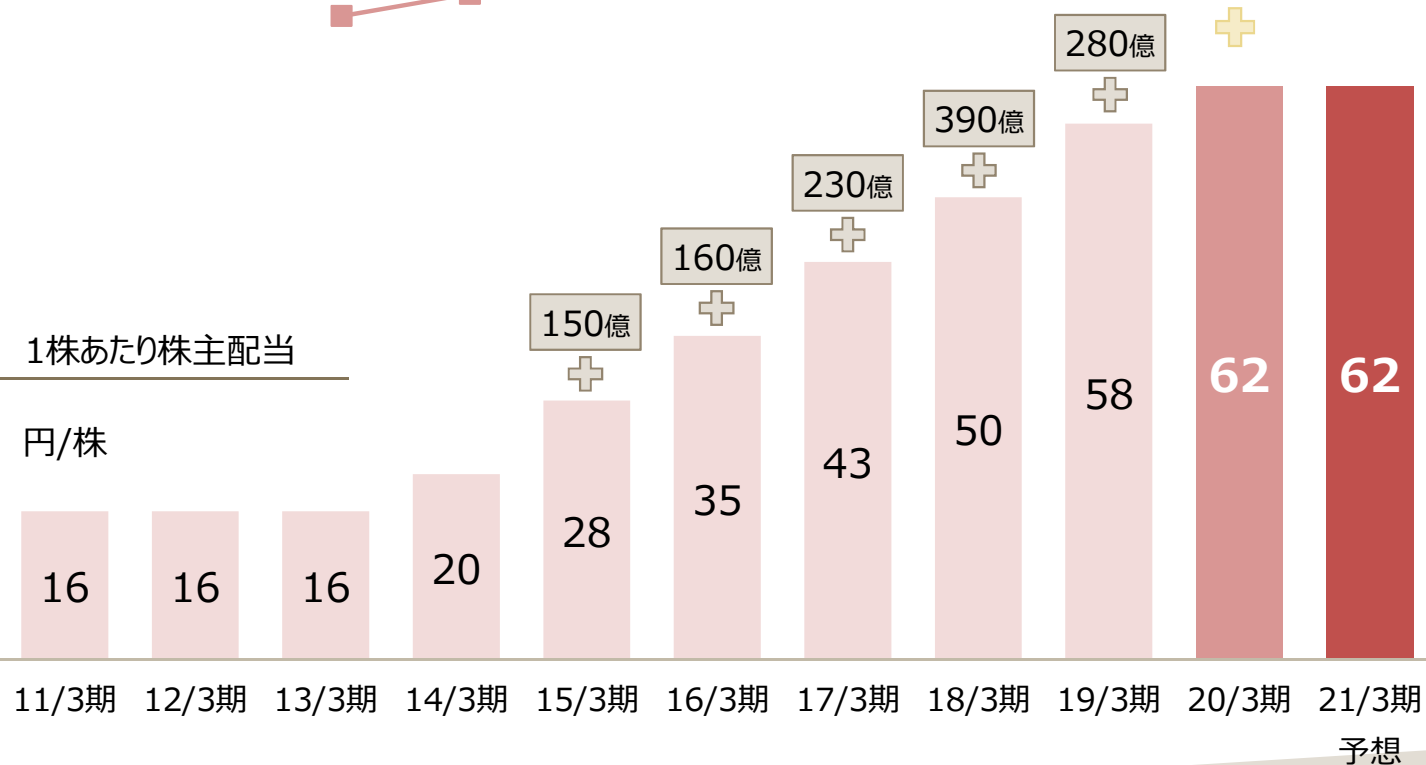


自己株式取得

実施額⁽¹⁾
約300億

1株あたり株主配当

円/株



自己株式取得の実施

- ▶ 前期の実質的なグループ修正利益である約2,500億円に対し、株主配当と併せて総還元性向40%に相当する300億円を上限とする自己株式取得を実施 (調整前のグループ修正利益2,745億円に対する総還元性向は36.5%)

2021年3月期 株主還元

- ▶ 株主配当予想は62円とし、安定した株主配当を維持する方針
- ▶ 総還元性向は引き続き40%目処に検討

(1) 2020年8月12日取締役会において決議した自己株式取得の上限金額

第一生命グループ - 連結財務諸表(要約)

連結損益計算書

(億円)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減
経常収益	36,561	33,631	△ 2,930
保険料等収入	24,588	21,012	△ 3,575
資産運用収益	10,538	11,526	+ 987
利息・配当金等収入	6,365	6,788	+ 423
有価証券売却益	1,698	1,900	+ 202
金融派生商品収益	-	-	-
為替差益	-	1,276	+ 1,276
特別勘定資産運用益	631	1,275	+ 644
その他経常収益	1,434	1,092	△ 342
経常費用	34,624	32,003	△ 2,621
保険金等支払金	24,724	21,879	△ 2,845
責任準備金等繰入額	801	3,018	+ 2,216
資産運用費用	4,172	2,479	△ 1,693
有価証券売却損	268	437	+ 168
有価証券評価損	146	167	+ 21
金融派生商品費用	192	602	+ 410
為替差損	3,026	-	△ 3,026
特別勘定資産運用損	-	-	-
事業費	3,349	3,271	△ 78
経常利益	1,937	1,628	△ 308
特別利益	3	4	+ 0
特別損失	119	134	+ 15
契約者配当準備金繰入額	409	368	△ 41
税金等調整前中間純利益	1,412	1,130	△ 282
法人税等合計	494	296	△ 197
非支配株主に帰属する中間純利益	-	-	-
親会社株主に帰属する中間純利益	917	833	△ 84

連結貸借対照表

(億円)	20/3末	20/9末	増減
資産の部合計	600,119	628,048	+ 27,928
現預金・コール	17,193	19,656	+ 2,463
買入金銭債権	2,211	2,461	+ 250
有価証券	477,344	504,122	+ 26,778
貸付金	37,157	37,812	+ 654
有形固定資産	11,262	11,305	+ 43
繰延税金資産	118	83	△ 34
負債の部合計	562,350	584,563	+ 22,212
保険契約準備金	504,945	507,035	+ 2,090
責任準備金	495,208	496,335	+ 1,126
社債	11,353	11,191	△ 161
その他負債	27,231	44,388	+ 17,157
退職給付に係る負債	4,408	4,432	+ 23
価格変動準備金	2,407	2,521	+ 113
繰延税金負債	2,961	4,956	+ 1,994
純資産の部合計	37,769	43,485	+ 5,716
株主資本合計	16,415	16,106	△ 308
その他の包括利益累計額合計	21,343	27,369	+ 6,025
その他有価証券評価差額金	22,831	28,804	+ 5,972
土地再評価差額金	△179	△187	△ 7

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

第一生命 – 財務諸表(要約)

損益計算書

(億円)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減
経常収益	18,070	17,821	△ 249
保険料等収入	11,615	10,865	△ 749
資産運用収益	5,526	6,231	+ 705
利息・配当金等収入	3,885	4,120	+ 235
有価証券売却益	1,081	1,319	+ 237
金融派生商品収益	139	-	△ 139
特別勘定資産運用益	367	675	+ 307
その他経常収益	929	724	△ 205
経常費用	16,094	16,628	+ 533
保険金等支払金	10,435	9,187	△ 1,248
責任準備金等繰入額	1,078	1,953	+ 874
資産運用費用	1,264	2,414	+ 1,149
有価証券売却損	258	430	+ 172
有価証券評価損	142	79	△ 63
金融派生商品費用	-	1,262	+ 1,262
為替差損	499	264	△ 234
特別勘定資産運用損	-	-	-
事業費	1,963	1,964	+ 1
経常利益	1,976	1,193	△ 783
特別利益	3	4	+ 0
特別損失	90	106	+ 15
契約者配当準備金繰入額	409	368	△ 41
税引前中間純利益	1,480	723	△ 756
法人税等合計	416	210	△ 206
中間純利益	1,063	512	△ 550

貸借対照表

(億円)	20/3末	20/9末	増減
資産の部合計	364,935	386,533	+ 21,598
現預金・コール	10,569	10,289	△ 280
買入金銭債権	2,211	2,461	+ 250
有価証券	302,837	328,400	+ 25,562
貸付金	25,420	25,928	+ 507
有形固定資産	10,974	11,016	+ 42
繰延税金資産	-	-	-
負債の部合計	339,436	357,312	+ 17,876
保険契約準備金	308,234	310,102	+ 1,868
責任準備金	302,962	304,767	+ 1,804
危険準備金	6,284	6,316	+ 32
社債	4,762	4,762	-
その他負債	16,931	32,424	+ 15,492
退職給付引当金	3,980	4,035	+ 55
価格変動準備金	2,154	2,239	+ 85
繰延税金負債	795	2,483	+ 1,687
純資産の部合計	25,499	29,221	+ 3,721
株主資本合計	6,301	5,311	△ 990
評価・換算差額等合計	19,197	23,909	+ 4,712
その他有価証券評価差額金	19,164	23,963	+ 4,799
土地再評価差額金	△ 179	△ 187	△ 7

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

第一フロンティア生命 – 財務諸表(要約)

損益計算書

(億円)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減
経常収益	12,404	8,589	△ 3,814
保険料等収入	7,081	3,968	△ 3,112
資産運用収益	1,811	4,620	+ 2,808
最低保証リスクに対するヘッジ利益	-	-	-
為替差益	-	1,540	+ 1,540
経常費用	12,788	8,289	△ 4,499
保険金等支払金	9,795	7,555	△ 2,240
責任準備金等繰入額	14	493	+ 479
最低保証リスクに係る責任準備金繰入額	△134	△36	+ 98
危険準備金繰入額	△233	△3	+ 230
資産運用費用	2,607	6	△ 2,600
最低保証リスクに対するヘッジ損失	31	52	+ 20
為替差損	2,527	-	△ 2,527
事業費	321	197	△ 124
経常利益 (△は損失)	△384	300	+ 685
特別利益	-	-	-
特別損失	28	28	△ 0
法人税等合計	0	41	+ 41
中間純利益 (△は損失)	△412	231	+ 644

【参考】

中間純利益 (△は損失)	△412	231	+ 644
最低保証リスク関連損益 ⁽¹⁾	△7	△21	△ 13
市場価格調整 (MVA) による損益 ⁽²⁾	△964	△46	+ 918
事業利益	354	364	+ 10
危険準備金繰入、価格変動準備金繰入、税金	205	△65	△ 270

貸借対照表

(億円)	20/3末	20/9末	増減
資産の部合計	89,471	92,988	+ 3,517
現預金・コール	2,727	4,133	+ 1,406
有価証券	74,278	74,825	+ 546
負債の部合計	86,941	89,890	+ 2,948
保険契約準備金	77,799	78,292	+ 493
責任準備金	77,598	78,090	+ 491
危険準備金	632	628	△ 3
純資産の部合計	2,529	3,098	+ 568
株主資本合計	499	731	+ 231
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	△1,350	△1,118	+ 231
その他有価証券評価差額金	2,029	2,367	+ 337

- (1) 最低保証リスク関連損益には、最低保証リスクに係る責任準備金繰入額及び同ヘッジ損益に加え、変額商品の危険保険料や最低保証に係る支払、再保険収支等を含む
(20/3期2Q累計：△110億円、21/3期2Q累計：△5億円)
- (2) 市場価格調整 (MVA) に係る責任準備金繰入/戻入のうち、資産運用損益勘定で相殺され、経常利益に影響を及ぼさない部分は除く

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

米プロテクトィブ – 財務諸表(要約)⁽¹⁾

損益計算書

(百万米ドル)	19/12期 2Q累計	20/12期 2Q累計	増減
経常収益	6,378	4,938	△ 1,440
保険料等収入	2,887	2,911	+ 24
資産運用収益	2,957	1,644	△ 1,313
その他経常収益	533	382	△ 151
経常費用	6,073	4,826	△ 1,247
保険金等支払金	2,771	2,937	+ 166
責任準備金等繰入額	2,338	73	△ 2,264
資産運用費用	401	1,232	+ 830
事業費	469	462	△ 6
その他経常費用	93	119	+ 26
経常利益 (△は損失)	305	112	△ 192
特別利益	0	-	△ 0
特別損失	0	0	△ 0
法人税等合計	58	21	△ 36
中間純利益 (△は損失)	246	90	△ 156

貸借対照表

(百万米ドル)	19/12末	20/6末	増減
資産の部合計	121,080	123,256	+ 2,175
現預金	310	700	+ 390
有価証券	85,011	86,124	+ 1,112
貸付金	11,066	11,383	+ 316
有形固定資産	227	225	△ 1
無形固定資産	3,449	3,394	△ 55
のれん	825	825	-
その他の無形固定資産	2,596	2,535	△ 60
再保険貸	12,836	13,114	+ 278
負債の部合計	111,840	113,480	+ 1,640
保険契約準備金	101,128	101,067	△ 60
再保険借	306	393	+ 86
社債	4,496	4,401	△ 95
その他負債	4,514	6,027	+ 1,512
純資産の部合計	9,239	9,775	+ 535
株主資本合計	7,856	7,576	△ 279
その他の包括利益累計額合計	1,383	2,198	+ 815

(1) 米国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

豪TAL – 財務諸表(要約)⁽¹⁾

損益計算書

(百万豪ドル)	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減
経常収益	2,792	3,326	+ 534
保険料等収入	2,513	2,899	+ 385
資産運用収益	215	210	△ 5
その他経常収益	63	217	+ 153
経常費用	2,722	3,227	+ 504
保険金等支払金	1,838	2,474	+ 636
責任準備金等繰入額	288	203	△ 84
資産運用費用	32	18	△ 14
事業費	475	438	△ 36
その他経常費用	87	92	+ 5
経常利益 (△は損失)	69	98	+ 29
特別損益	-	-	-
法人税等合計	25	35	+ 9
中間純利益 (△は損失)	43	63	+ 19
基礎的収益力	49	66	+ 17

貸借対照表

(百万豪ドル)	20/3末	20/9末	増減
資産の部合計	12,155	12,833	+ 677
現預金	854	513	△ 340
有価証券	6,864	7,289	+ 425
有形固定資産	41	41	+ 0
無形固定資産	1,094	1,080	△ 13
のれん	786	786	-
その他無形固定資産	308	294	△ 13
再保険貸	293	305	+ 12
その他資産	2,830	3,493	+ 662
繰延税金資産	176	107	△ 69
負債の部合計	9,049	9,664	+ 614
保険契約準備金	7,406	7,956	+ 549
再保険借	434	553	+ 119
社債	248	247	△ 1
その他負債	959	906	△ 53
繰延税金負債	-	-	-
純資産の部合計	3,105	3,168	+ 63
株主資本合計	3,105	3,168	+ 63
資本金	2,130	2,130	-
利益剰余金	974	1,038	+ 63

(1) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

主要子会社別損益計算書(要約)



Dai-ichi Life
Holdings

(億円)	第一生命			第一フロンティア生命			ネオファースト生命			米プロテクト			豪TAL			連結		
	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減	19/12期 2Q累計	20/12期 2Q累計	増減	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減	20/3期 2Q累計	21/3期 2Q累計	増減
経常収益	18,070	17,821	△ 249	12,404	8,589	△ 3,814	672	730	+ 57	6,875	5,320	△ 1,554	2,034	2,510	+ 476	36,561	33,631	△ 2,930
保険料等収入	11,615	10,865	△ 749	7,081	3,968	△ 3,112	672	729	+ 57	3,112	3,136	+ 24	1,831	2,188	+ 356	24,588	21,012	△ 3,575
資産運用収益	5,526	6,231	+ 705	1,811	4,620	+ 2,808	0	1	+ 0	3,188	1,771	△ 1,416	156	158	+ 1	10,538	11,526	+ 987
利息・配当金等収入	3,885	4,120	+ 235	897	900	+ 3	0	1	+ 0	1,538	1,719	+ 181	24	7	△ 16	6,365	6,788	+ 423
有価証券売却益	1,081	1,319	+ 237	600	530	△ 70	-	-	-	15	50	+ 34	-	-	-	1,698	1,900	+ 202
金融派生商品収益	139	-	△ 139	-	882	+ 882	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
為替差益	-	-	-	-	1,540	+ 1,540	-	-	-	-	-	-	0	4	+ 3	-	1,276	+ 1,276
特別勘定資産運用益	367	675	+ 307	263	600	+ 336	-	-	-	-	-	-	-	-	-	631	1,275	+ 644
その他経常収益	929	724	△ 205	3,510	0	△ 3,510	0	0	△ 0	575	411	△ 163	46	163	+ 117	1,434	1,092	△ 342
経常費用	16,094	16,628	+ 533	12,788	8,289	△ 4,499	740	808	+ 67	6,546	5,199	△ 1,346	1,984	2,436	+ 452	34,624	32,003	△ 2,621
保険金等支払金	10,435	9,187	△ 1,248	9,795	7,555	△ 2,240	124	238	+ 113	2,986	3,165	+ 178	1,339	1,867	+ 528	24,724	21,879	△ 2,845
責任準備金等繰入額	1,078	1,953	+ 874	14	493	+ 479	487	434	△ 52	2,520	79	△ 2,441	210	153	△ 56	801	3,018	+ 2,216
資産運用費用	1,264	2,414	+ 1,149	2,607	6	△ 2,600	0	0	+ 0	433	1,328	+ 894	23	13	△ 10	4,172	2,479	△ 1,693
有価証券売却損	258	430	+ 172	1	1	+ 0	-	-	-	9	5	△ 3	-	-	-	268	437	+ 168
有価証券評価損	142	79	△ 63	-	-	-	-	-	-	4	88	+ 84	-	-	-	146	167	+ 21
金融派生商品費用	-	1,262	+ 1,262	42	-	△ 42	-	-	-	288	222	△ 65	-	-	-	192	602	+ 410
為替差損	499	264	△ 234	2,527	-	△ 2,527	-	-	-	0	0	△ 0	-	-	-	3,026	-	△ 3,026
特別勘定資産運用損	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
事業費	1,963	1,964	+ 1	321	197	△ 124	125	129	+ 3	505	498	△ 7	346	330	△ 15	3,349	3,271	△ 78
経常利益 (△は損失)	1,976	1,193	△ 783	△ 384	300	+ 685	△ 67	△ 77	△ 9	328	120	△ 207	50	74	+ 23	1,937	1,628	△ 308
特別利益	3	4	+ 0	-	-	-	-	-	-	0	-	△ 0	-	-	-	3	4	+ 0
特別損失	90	106	+ 15	28	28	△ 0	0	0	+ 0	0	0	△ 0	-	-	-	119	134	+ 15
契約者配当準備金繰入額	409	368	△ 41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	409	368	△ 41
税金等調整前当期純利益	1,480	723	△ 756	△ 412	272	+ 685	△ 67	△ 77	△ 9	328	120	△ 207	50	74	+ 23	1,412	1,130	△ 282
法人税等合計	416	210	△ 206	0	41	+ 41	0	0	-	63	23	△ 39	18	26	+ 8	494	296	△ 197
少数株主損益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中間純利益 (△は損失)	1,063	512	△ 550	△ 412	231	+ 644	△ 67	△ 77	△ 9	265	97	△ 168	32	47	+ 15	917	833	△ 84

第一生命グループ－連結ソルベンシー・マージン比率

(億円)	20/3末	20/9末	増減	
ソルベンシー・マージン総額 (A)	74,466	82,682	+ 8,216	
資本金等 ⁽¹⁾	12,260	12,692	+ 431	
価格変動準備金	2,407	2,521	+ 113	
危険準備金	6,931	6,962	+ 30	
一般貸倒引当金	1	3	+ 1	
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90% (マイナスの場合100%)	28,261	35,601	+ 7,339	
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	2,438	2,522	+ 83	
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額(税効果控除前)	△377	△348	+ 29	
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	22,707	22,963	+ 256	
負債性資本調達手段等	9,092	9,092	-	
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに 算入されない額	△7,620	△7,279	+ 340	
控除項目	△2,411	△2,838	△ 426	
その他	774	790	+ 15	
リスクの合計額 (B) $\sqrt{[\sqrt{(R_1^2+R_5^2)} + R_8+R_9]^2 + (R_2+R_3+R_7)^2} + R_4+R_6$	16,844	18,270	+ 1,426	
保険リスク相当額	R ₁	1,324	1,392	+ 67
一般保険リスク相当額	R ₅	48	48	△ 0
巨大災害リスク相当額	R ₆	14	13	△ 0
第三分野保険の保険リスク相当額	R ₈	1,923	1,934	+ 10
少額短期保険業者の保険リスク相当額	R ₉	-	-	-
予定利率リスク相当額	R ₂	2,457	2,396	△ 60
最低保証リスク相当額	R ₇ ⁽²⁾	706	663	△ 43
資産運用リスク相当額	R ₃	12,952	14,466	+ 1,513
経営管理リスク相当額	R ₄	388	418	+ 29
ソルベンシー・マージン比率 (A) / { (1/2) × (B) }	884.1%	905.0%	+20.9%	

(1) 社外流出予定額及びその他の包括利益累計額等を除く

(2) 標準的方法を用いて算出

本資料の問い合わせ先

第一生命ホールディングス株式会社
経営企画ユニット IRグループ
電話：050－3780－6930

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命ホールディングス株式会社（以下「当社」という。）は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。

2021年3月期第2四半期 財務・業績の概況

①契約の状況等

		2020年9月期		20年3月期	19年9月期	
			20/3期比			19/9期比
新契約年換算保険料(グループ)	(百万円)	85,957	-	△42.5	336,022	149,545
うち第一生命	(百万円)	17,384	-	△59.3	89,680	42,709
うち第三分野	(百万円)	9,074	-	△65.9	54,747	26,579
うち第一フロンティア生命	(百万円)	30,002	-	△54.4	119,817	65,763
うちプロテクティブ	(百万円)	19,324	-	+5.1	39,038	18,394
うちTAL	(百万円)	4,421	-	△49.4	54,841	8,736
保有契約年換算保険料(グループ)	(百万円)	3,988,186	+0.5	+1.0	3,969,783	3,948,982
うち第一生命	(百万円)	2,081,792	△1.4	△1.7	2,110,493	2,117,137
うち第三分野	(百万円)	687,365	△1.1	+0.4	694,727	684,357
うち第一フロンティア生命	(百万円)	832,503	+3.1	+1.2	807,859	822,661
うちプロテクティブ	(百万円)	536,222	△1.8	△0.2	545,783	537,093
うちTAL	(百万円)	331,658	+9.6	+19.8	302,471	276,788
連結保険料等収入	(百万円)	2,101,284	-	△14.5	4,885,407	2,458,834
うち第一生命	(百万円)	1,086,541	-	△6.5	2,350,198	1,161,510
うち個人保険分野	(百万円)	737,187	-	△3.2	1,582,158	761,266
うち団体保険分野	(百万円)	314,140	-	△17.7	725,767	381,669
うち第一フロンティア生命	(百万円)	396,882	-	△44.0	1,355,434	708,168
うちプロテクティブ	(百万円)	313,693	-	+0.8	631,236	311,232
うちTAL	(百万円)	218,852	-	+19.5	345,669	183,196
保有契約高(国内グループ生保合算値)	(百万円)	108,125,050	△2.2	△5.1	110,611,551	113,962,340
うち第一生命	(百万円)	97,899,637	△2.9	△6.0	100,809,909	104,116,572
解約・失効年換算保険料(第一生命)	(百万円)	28,925	-	△22.8	73,889	37,454

※3月期比、9月期比は増減比率

(注)1. グループとは第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命、プロテクティブ、TAL、第一生命ベトナム、第一生命カンボジア、第一生命ミャンマーの8社

国内グループ生保とは第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命の3社

2. プロテクティブ、第一生命ベトナム、第一生命カンボジア、第一生命ミャンマーの決算日は12月31日

3. 新契約年換算保険料(以下、新契約ANP)及び保有契約年換算保険料(以下、保有契約ANP)のうち、プロテクティブは損害保険事業、TALは団体保険を含む

プロテクティブの損害保険事業:	2019年9月期	新契約ANP	4,475百万円	保有契約ANP	32,523百万円
	2020年3月期	新契約ANP	9,000百万円	保有契約ANP	33,048百万円
	2020年9月期	新契約ANP	3,781百万円	保有契約ANP	31,622百万円
TALの団体保険:	2019年9月期	新契約ANP	5,262百万円	保有契約ANP	127,875百万円
	2020年3月期	新契約ANP	48,458百万円	保有契約ANP	165,143百万円
	2020年9月期	新契約ANP	1,360百万円	保有契約ANP	173,576百万円

4. 保険料等収入のうち個人保険分野は個人保険+個人年金、団体保険分野は団体保険+団体年金の合計保険料(再保険収入は含まない)

5. 保有契約高、解約・失効年換算保険料は個人保険+個人年金保険

6. 解約・失効は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出、「減額」は含まない

7. 新契約年換算保険料について、2021年3月期よりTALの計上基準を変更した。過年度の数値も変更後の基準で記載している

②資産の状況等

		2020年9月末		20年3月末	19年9月末	
			20/3末比			19/9末比
連結総資産	(億円)	628,048	+4.7	+4.4	600,119	601,745
連結実質純資産額	(億円)	118,270	+6.3	△3.8	111,223	122,895
連結ソルベンシー・マージン比率	(%)	905.0	+20.9	△31.5	884.1	936.5

※3月末比、9月末比は増減比率(ソルベンシー・マージン比率は増減ポイント)

③基礎利益・順ざや

		2020年9月期		20年3月期	19年9月期	
			19/9期増減額			19/9期増減率
グループ基礎利益	(百万円)	286,543	+17,581	+6.5	546,322	268,961
うち国内グループ生保合算値	(百万円)	251,065	+26,242	+11.7	446,853	224,823
うち第一生命	(百万円)	230,231	+26,488	+13.0	422,132	203,743
うち第一フロンティア生命	(百万円)	28,399	+757	+2.7	40,565	27,642
うちネオファースト生命	(百万円)	△7,565	△1,004	-	△15,843	△6,561
うち海外グループ生保合算値	(百万円)	35,728	△3,831	△9.7	88,108	39,560
うちプロテクティブ	(百万円)	23,957	△5,594	△18.9	59,919	29,551
うちTAL	(百万円)	7,154	+2,018	+39.3	17,817	5,135
うちその他(アセットマネジメント事業等)	(百万円)	△251	△4,828	-	11,359	4,577

(注)1. グループ基礎利益は、第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命の基礎利益、プロテクティブの税引前営業利益、TALの基礎的な利益(税引前換算)、

第一生命ベトナム、第一生命カンボジア、第一生命ミャンマーの税引前利益、関連会社の持分利益(税引前換算)等を合算し、グループの内部取引の一部を相殺した数値を掲載

2. 第一フロンティア生命において、2021年3月期より、外貨建保険商品対応のための通貨スワップ及び金利スワップ取引に係る受取・支払利息の額及び再保険取引に係る金銭の信託等に留保する資産より生じる影響額については過年度数値も含めキャピタル損益より組み替えて表示

		2021年3月期の予想	2020年3月期の実額
順ざや額(国内グループ生保合算値)	(億円)	増加の見込み	1,275

④基礎利益の内訳
(国内グループ生保合算値)

	(百万円)	2020年9月期		2020年3月期	19年9月期	
			19/9期増減額			19/9期増減率
基礎利益		251,065	+26,242	+11.7	446,853	224,823
順ざや額		97,488	+41,284	+73.5	127,566	56,204
最低保証に係る責任準備金の増減による影響		3,721	△9,763	△72.4	14,580	13,485
保険関係損益		149,855	△5,279	△3.4	304,707	155,134

(注) 最低保証に係る責任準備金等を繰り入れた場合は基礎利益を減少させる要因になり、戻し入れた場合は基礎利益を増加させる要因になる

(第一生命)

	(百万円)	2020年9月期		2020年3月期	19年9月期	
			19/9期増減額			19/9期増減率
基礎利益		230,231	+26,488	+13.0	422,132	203,743
順ざや額		82,529	+35,537	+75.6	109,575	46,991
最低保証に係る責任準備金の増減による影響		74	+63	+563.5	△63	11
保険関係損益		147,628	△9,112	△5.8	312,619	156,740
うち危険差益		148,732	+8,211	+5.8	275,357	140,520

⑤準備金(国内グループ生保合算値)

	(百万円)	2020年9月末		2020年3月末	19年9月末	
			20/3末比			19/9末比
責任準備金(除く危険準備金)		37,867,122	+269,571	+67.735	37,597,550	37,799,387
うち一般勘定(除く危険準備金)		35,387,216	+217,324	+321,000	35,169,891	35,066,216
うち特別勘定(除く危険準備金)		2,479,906	+52,247	△253,265	2,427,658	2,733,171
価格変動準備金		252,102	+11,306	+22,514	240,796	229,588
危険準備金		696,218	+3,026	△11,578	693,191	707,796
危険準備積立金		0	-	-	0	0
価格変動積立金		0	-	-	0	0

(注) 危険準備積立金・価格変動積立金は、剰余金処分後の残高を記載

※3月末比、9月末比は増減実額

⑥含み損益

	(百万円)	2020年9月末		2020年3月末	19年9月末	
			20/3末比			19/9末比
有価証券		5,782,877	+358,990	△778,805	5,423,886	6,561,683
うち国内株式		1,679,196	+418,092	△28,556	1,261,103	1,707,752
うち国内債券		2,897,977	△323,662	△822,141	3,221,640	3,720,119
うち外国証券		1,192,607	+275,899	+103,944	916,707	1,088,662
不動産		344,897	+12,246	+47,260	332,651	297,637
その他共計		6,161,833	+359,721	△743,183	5,802,112	6,905,017

(注) 1. 不動産の含み損益は国内不動産(含む借地権)を対象とし、再評価前の水準

※3月末比、9月末比は増減実額

(注) 2. 第一生命の実績を掲載

⑦運用実績と計画

	(百万円)	上期実績	下期計画
国内株式		+405,834	減少
国内債券		+512,351	増加
外国株式等		+335,192	株価水準次第で機動的に残高調整
外国債券		+1,409,986	金利・為替水準次第で機動的に残高調整
不動産		+5,403	増加

(注) 第一生命の実績を貸借対照表価額ベースで掲載

⑧資産の含み損益がゼロになる水準

		2020年9月末時点
国内株式(日経平均)	(円)	10,800
国内株式(TOPIX)	(ポイント)	760
国内債券	(%)	1.0
外国証券	(円)	107

(注) 1. 国内株式は日経平均およびTOPIXに連動させ、株式の評価基準にあわせて算出

2. 国内債券は10年新発国債利回りて換算し、小数点第1位まで算出

3. 外国証券はドル円換算にて算出

4. 第一生命の水準を掲載

⑨2021年3月期の業績見通し

	2021年3月期の予想
連結保険料等収入	減少の見込み
グループ基礎利益	4,800億円程度
保有契約年換算保険料(グループ)	増加の見込み
保有契約高(国内グループ生保合算値)	減少の見込み

⑩社員数

		2020年9月末		20年3月末	19年9月末
			20/3末比	19/9末比	
営業職	(人)	44,974	+1.3	+1.2	44,401
内勤職	(人)	11,177	+2.6	△0.9	10,893
					11,281

(注)1. 社員数(営業職)には、当社と委任契約を締結しかつ生命保険募集人登録をしているもので、その他補助的業務に従事するものを含む ※3月末比、9月末比は増減比率
 (注)2. 第一生命の実績を掲載

⑪金融機関窓販の状況(第一生命と第一フロンティア生命の合算値)

			2020年9月期		20年3月期	19年9月期
				19/9期比		
変額年金保険	新契約件数	(件)	3,768	+50.5	4,871	2,504
	金額(収入保険料)	(百万円)	16,536	+30.1	24,595	12,714
定額年金保険	新契約件数	(件)	10,334	△62.1	48,174	27,246
	金額(収入保険料)	(百万円)	52,967	△60.4	239,163	133,844

(注)金融機関とは銀行、証券会社、信託銀行、信用金庫 ※9月末比は増減比率

			2020年9月期		20年3月期	19年9月期
				19/9期比		
変額一時払 終身保険	新契約件数	(件)	133	△62.2	691	352
	金額(収入保険料)	(百万円)	2,102	△49.9	7,826	4,198
定額一時払 終身保険	新契約件数	(件)	17,563	△44.5	53,717	31,627
	金額(収入保険料)	(百万円)	125,909	△48.5	425,736	244,464

(注)金融機関とは銀行、証券会社、信託銀行、信用金庫 ※9月末比は増減比率

			2020年9月期		20年3月期	19年9月期
				19/9期比		
定額一時払 養老保険	新契約件数	(件)	2,238	△30.9	6,471	3,241
	金額(収入保険料)	(百万円)	35,823	△28.7	102,098	50,259

(注)金融機関とは銀行、証券会社、信託銀行、信用金庫 ※9月末比は増減比率

その他質問項目(2020年9月)

○変額年金保険等の最低保証に係る一般勘定の責任準備金繰入・戻入の状況

			2020年9月期	20年3月期	19年9月期
変額年金保険等の 最低保証に係る 一般勘定の 責任準備金繰入・戻入	第一生命	(億円)	△ 0	0	△ 0
	第一フロンティア生命	(億円)	△ 36	△ 146	△ 134
	第一生命、第一フロンティア合算値	(億円)	△ 37	△ 145	△ 134

(注)繰入額についてはプラスで表示、戻入額についてはマイナスで表示